

附属明細書

<資料 - 1>	日程順経過報告	P 1
<資料 - 2>	令和4年度会議室利用状況	P 3
<資料 - 3>	おしごと広場みえ運営総合事業 令和4年度事業報告	P 4
<資料 - 4>	地域若者サポートステーション事業 令和4年度事業報告	P21
<資料 - 5>	ジョブ・カード作成支援推進事業 令和4年度事業実績報告	P25
<資料 - 6>	生活困窮者及び被保護者就労準備支援事業 令和4年度事業報告	P32
<資料 - 7>	会館維持管理・法定点検状況表	P35
<資料 - 8>	自動販売機「販売数・手数料」一覧表	P36
<資料 - 9>	第3期中期経営計画・取組課題	P37

日程順経過報告

月 日(曜日)	内 容	開 催 場 所
4月20日(水)	令和4年度 第1回理事会	【みなし決議】
4月21日(木)	<三重労働局>監査(若年者地域連携事業) <三重労働局>監査(ジョブ・カード作成支援推進事業)	三重県勤労者福祉会館 特別会議室
4月22日(金)	<三重労働局>監査(地域若者サポートステーション事業)	アスト津
4月22日(金)	令和4年度 第1回臨時評議員会	【みなし決議】
4月26日(火)	<三重県労福協・連合三重> 第26回チャリコン実行委員会	三重県勤労者福祉会館 第2会議室
4月28日(火)	<三重県労福協>はなしょうぶ編集委員会	三重県労福協 会議室
4月29日(祝)	<連合三重>第93回三重県中央メーデー	津お城西公園
5月9日(月)	<三重県労福協> 第6回理事会	三重県勤労者福祉会館 講堂
5月15日(日)	文化講座「三重の日本酒をテイastingで学ぶ」	三重県勤労者福祉会館 講堂
5月19日(木)	令和3年度 決算監査(監事会)	三重県勤労者福祉会館 特別会議室
5月23日(月)	令和4年度 第2回理事会	三重県勤労者福祉会館 第2会議室
5月24日(火)	オールインワンミーティングボード「MAXHUB」セミナー	三重県勤労者福祉会館 特別会議室
5月26日(木)	<三重県労福協>第11回定時社員総会 <暮らしほっとステーションみえ> 総会	三重地方自治労働文化センター
6月6日(月)	オールインワンミーティングボード「MAXHUB」セミナー	三重県勤労者福祉会館 特別会議室
6月10日(金)	<三重県労福協>第1回事業推進会議	三重県勤労者福祉会館 講堂
6月15日(水)	第10回定時評議員会 令和4年度 第3回理事会	三重県勤労者福祉会館 特別会議室
6月17日(金)	<三重県住宅生協>第58回通常総代会	三重県勤労者福祉会館 講堂
6月20日(月)	<三重県勤労者ゆとり創造基金協会>定時評議員会	三重県勤労者福祉会館 第2会議室
6月26日(日)	文化講座「羊毛フェルト講座」	三重県勤労者福祉会館 講堂
6月28日(火)	令和4年度 第4回理事会	【みなし決議】
6月29日(水)	中部ブロック労働者福祉会館協議会 第1回幹事会 中部ブロック労働者福祉会館協議会 令和4年度定期総会	ボルファートとやま(富山県富山市)
7月1日(金)	令和4年度 第2回臨時評議員会	【みなし決議】
7月8日(金)	ジョブカフェ愛 work 視察	愛媛県若年者就職支援センター
7月14日(木)	公益法人協会セミナー	ウインクあいち(名古屋市)
7月15日(金)	<三重県労福協>第2回理事会	三重県勤労者福祉会館 講堂
7月29日(金)	<こくみん共済 coop> 第5回組合員代表者会議 <三重労済>第66回通常総代会	【書面出席】
8月1日(月)	<三重県労福協>はなしょうぶ編集委員会	三重県労福協 会議室
8月5日(金)	<三重県労福協・連合三重> 第26回チャリコン実行委員会	西日本セブンスリーゴルフクラブ
8月22日(月)	<三重県>三重県勤労者福祉会館 空調設備視察	三重県勤労者福祉会館 機械室
8月30日(火)	第1回会館管理運営委員会	三重県勤労者福祉会館 特別会議室
9月1日(木)	<三重県労福協>2022年度労働者自主福祉強化研修会	三重県勤労者福祉会館 講堂
9月6日(火)	<三重労働局・三重県>令和4年度公正採用選考研修会	三重県勤労者福祉会館 講堂
9月8日(木)	中部ブロック労働者福祉会館協議会 第2回幹事会 <全国労働者福祉会館協議会>第52回定期総会	ワークピア横浜
9月22日(木)	<三重県労福協>第2回事業推進会議	三重県勤労者福祉会館 講堂
10月4日(火)	三重県勤労者福祉会館 第1回防災訓練	三重県勤労者福祉会館 講堂
10月24日(月)	<三重県労福協>第3回理事会	三重県勤労者福祉会館 講堂
10月28日(金)	<連合三重>第34回定期大会	メッセウイング・みえ
11月1日(火)	<三重県労福協>はなしょうぶ編集委員会	三重県労福協 会議室

11月5日(土)	＜三重県勤労者ゆとり創造基金協会＞熊野古道バスツアー	始神峠
11月22日(火)	令和4年度 第1回就労支援事業責任者会議	三重県勤労者福祉会館 特別会議室
11月28日(金)	＜三重県労福協＞結成55周年・一社設立10周年記念式典	ホテルグリーンパーク津
11月30日(金)	令和4年度 第5回理事会	三重県勤労者福祉会館 特別会議室
12月5日(月)	＜三重県労福協＞政策・福祉研修会	三重県勤労者福祉会館 講堂
12月7日(水)	中部ブロック労働者福祉会館協議会 第3回幹事会	三重県勤労者福祉会館 特別会議室
12月16日(金)	＜三重県労福協＞防災・減災意識の啓発・啓蒙講演会 ＜三重県労福協＞第3回事業推進会議	三重県勤労者福祉会館 講堂
12月23日(金)	職員全体会議&納会	三重県勤労者福祉会館 講堂
1月6日(金)	＜連合三重＞2023新春旗開き	津センターパレス 5階 ホール
1月16日(月)	令和4年度 第6回理事会	【みなし決議】
1月20日(金)	＜三重県労福協＞第4回理事会	三重県勤労者福祉会館 講堂
1月30日(金)	第3回臨時評議員会	【みなし決議】
1月31日(火)	＜三重県労福協＞はなしょうぶ編集委員会	三重県労福協 会議室
2月1日(水)	公益財団法人 愛知県労働協会との情報交換会	三重県勤労者福祉会館 特別会議室
2月2日(木)	会館管理業務委託業者 指名審査会	三重県勤労者福祉会館 特別会議室
2月2日(木)	三役会議	三重県勤労者福祉会館 特別会議室
2月6日(月)	＜三重県労福協＞総務委員会	三重県勤労者福祉会館 特別会議室
2月9日(木)	＜三重県労福協＞第4回事業推進会議	三重県勤労者福祉会館 講堂
2月27日(月)	会館管理業務委託業者 入札会	三重県勤労者福祉会館 特別会議室
2月27日(月)	第2回会館管理運営委員会	三重県勤労者福祉会館 特別会議室
3月5日(日)	文化事業／天達武史氏 講演会	三重県勤労者福祉会館 講堂
3月9日(木)	中部ブロック労働者福祉会館協議会 第4回幹事会【～10日】	彦根勤労福祉会館(滋賀県)
3月16日(木)	＜三重県労福協＞第4回理事会	三重県勤労者福祉会館 講堂
3月24日(金)	三重県勤労者福祉会館 第2回防災訓練	三重県勤労者福祉会館 研修室
3月27日(月)	令和4年度 第7回理事会	三重県勤労者福祉会館 特別会議室

三重県勤労者福祉会館 会議室利用状況【稼働率】

【令和4年度】

令和5年3月末現在

Table showing meeting room utilization status for Heisei 4 (FY2022). It includes columns for months (April to March), labor types (General, etc.), and utilization rates. A summary row shows an overall utilization rate of 48.1%.

【令和3年度】

令和4年3月末現在

Table showing meeting room utilization status for Heisei 3 (FY2021). It includes columns for months (April to March), labor types (General, etc.), and utilization rates. A summary row shows an overall utilization rate of 43.9%.

三重県 受託事業

おしごと広場みえ運営総合事業 令和4年度事業実績報告

1. 事業目的

本事業は、若者等の就労支援を総合的にワンストップで提供する「おしごと広場みえ」において、県内での就職を希望する若年求職者や就職氷河期世代等のニーズに応じてきめ細やかな就労支援サービスを提供するとともに、企業の人材確保に対するニーズに対して、県等が取り組む各種U・Iターン事業に参加体験した若年求職者等を、同所が実施する就職支援サービス等に誘引することで、県内企業の人材確保と若者の県内定着につなげることを目的としています。

また、「ええとこやんか三重移住相談センター」へ就職相談アドバイザーを配置することで、首都圏からの人材還流の取組との連携強化を図ります。

2. 履行場所

I. おしごと広場みえ運営事業

「おしごと広場みえ」

(三重県津市羽所町 700 番地 アスト津 3 階)

II. 首都圏における就職相談アドバイザー事業

「ええとこやんか三重 移住相談センター」

(東京都千代田区有楽町 2-10-1 ふるさと回帰支援センター内)

III. 就職氷河期世代再チャレンジ応援窓口運営事業

「マイチャレ三重」

(三重県津市羽所町 700 番地 アスト津 3 階 「おしごと広場みえ」内)

3. 履行期間

令和4年 4月1日 から 令和5年 3月31日まで

4. 対象者

以下のものを対象とし、求職者については、三重県内の企業に就職を希望する者をいう。

- ・ 県内外の大学・短大・専門学校・高専等に在学する者
- ・ 34歳以下の若年者
- ・ 就職氷河期世代（現在、非正規雇用または無業の状態で、安定した就職を目指している概ね36歳から51歳までの者）
- ・ U・Iターン就職を希望している者
- ・ 人材確保・育成ニーズのある県内企業
- ・ 学生等の県内定着に理解のある県内外大学 等

5. 業務内容と実施結果

＜開所時間＞

Ⅰ. おしごと広場みえ

平日 午前9時から午後6時まで（土曜、日曜、祝日及び年末年始は休所）

毎月第1・第3土曜日 午前11時から午後5時まで

Ⅱ. ええとこやんか三重 移住相談センター

午前10時から午後6時まで（月曜、祝日及び年末年始は休所）

Ⅲ. マイチャレ三重

平日 午前9時から午後6時まで（土曜、日曜、祝日及び年末年始は休所）

毎月第1・第3土曜日 午前11時から午後5時まで

＜提供するサービス＞

受付業務、キャリアコンサルティング業務、U・I ターン促進業務、若年求職者や就職氷河期世代を対象とした就職支援事業、県内企業の人材確保支援事業、県内外大学の協力を得て実施する学生等の県内定着に向けた就職支援業務、既卒女性への就職支援業務 等

(1) おしごと広場みえ運営事業

① キャリアコンサルティング業務

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、Web 会議システム「Zoom」を使ったオンライン対応を積極的に実施してきました。

その結果、利用者のニーズに応えることができ、キャリアコンサルティングについては、目標 320 件に対し 1,176 件（対面 752 件、オンライン 424 件）と目標値大きく上回りました。また、目標数値には届かなかったものの、延べ利用者数・新規登録者数・就職者数とも前年を上回ることができました。

表1 キャリアコンサルティング実施件数（目標値：年 320 件（名）以上）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
対面	85	66	57	132	65	36
オンライン	54	31	30	31	26	27
合計	139	97	87	163	91	63

月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
対面	78	50	28	27	45	83	752
オンライン	44	23	24	34	41	59	424
合計	122	73	52	61	86	142	1176

表2 経済団体や大学等におけるキャリアコンサルティング実施件数

経済団体	開催日	名称	主催
	4月20日(火)	三重の就職セミナー	三重県下商工会議所
	9月1日(木)	合同企業説明会	三重県
	9月9日(金)	若者応援就活フェア in 津	三重労働局
	12月1日(木)	亀山市雇用対策協議会実務研修会	亀山市雇用対策協議会
	3月5日(木)	企業ガイダンス	松阪市商工会議所
	3月5日(木)	人事のホンネ!!	松阪商工議所
	3月10日(金)	三重の企業説明会 in 津	三重労働局
	3月14日(火)	三重の就職セミナー	四日市商工会議所
大学等	5月19日(火)	模擬面接会	津高等技術学校
	5月24日(火)	三重の就職セミナー	四日市商工会議所
	5月30日(木)	知って得する労働法	四日市工業高校
	7月7日(月)	適職診断	四日市工業高校ものづくり 専攻科企業展
	7月27日(木)	就職対策講座	三重短期大学
	7月28日(月)	就職対策講座	三重短期大学
	9月8日(火)	オンライン就職対策講座	三重短期大学
	9月14日(月)	オンライン就職対策講座	三重短期大学
	9月15日(火)	オンライン就職対策講座	三重短期大学
	10月19日(水)	適職診断	三重短期大学
	10月24日(月)	適職診断	三重短期大学
	10月26日(水)	適職診断	三重短期大学
	11月7日(月)	適職診断	三重短期大学
	11月15日(火)	適職診断	三重短期大学
	11月16日(水)	模擬面接会	津高等技術学校
	11月21日(月)	適職診断	三重短期大学
	12月5日(月)	適職診断	三重短期大学
	12月13日(火)	適職診断	三重短期大学
	2月14日(火)	学内企業研究会	三重大学
	2月15日(水)	学内企業研究会	三重大学
	2月15日(水)	模擬集団討論・集団面接	四日市大学
	2月16日(木)	学内企業研究会	三重大学
	2月21日(火)	模擬集団討論・集団面接	皇學館大学
	3月1日(水)	模擬面接会	津高等技術学校
	3月29日(水)	模擬集団討論会	皇學館大学
		合計	25回

(目標値：年10回程度)

②運営事業主催イベント及び講座の開催

I. みえの企業インターンシップ説明会

- 【開催日】12月26日（月） 【会場】四日市市地場産業振興センター
 【後援】三重労働局、四日市商工会議所
 【参加企業数】19社

II. 就活デビュー講座の開催（別紙 3）

・「身だしなみセミナー&写真撮影会」

- 【開催日】1月13日、2月8日、2月15日
 【参加人数】22名

・「プレ・模擬面接会」

- 【開催日】1月19日、2月2日、9日、16日、22日
 3月2日、9日、15日、16日、23日、27日、30日
 【参加人数】47名

・「人事のホンネ」

- 【開催日】3月5日 【会場】会場松阪フレックスホテル3階桐の間
 【参加企業数】4社 【参加人数】参加人数25名

③若年求職者等を対象にした就職支援事業、県内企業の人材確保に関する事業

（株）東京リーガルマインドが実施している「令和4年度若年者地域連携事業」（以下、「地域連携事業」）の目標達成に協力し、三重労働局等関連団体と連携を取りながら事業を進めてきました。

I 「企業人材確保・定着講座」の実施

ア. おしごと広場みえミニ企業説明会

・新型コロナウイルス感染の影響により、オンライン中心の開催（10月は対面）となりました。

- ・7月からスタートした「ミニ企業説明会」にHPでの周知などの支援を実施しました。

表3 おしごと広場ミニ企業説明会実施件数

月日	出展 企業数	参加者数	
		対面	オンライン
7月27日	3		3
8月24日	4		7
9月22日	4		18
10月19日	4	4	
11月24日	4		8
12月22日	4		1
1月26日	開催中		

2月22日	4		5
3月23日	4		4
計	31社	4名	46名

④県内企業への訪問業務

県内中小企業等の人材確保や定着、離職防止等、企業の課題やニーズを把握するため、専門職員を配置し、県内企業を直接訪問し、情報交換、ならびにおしごと広場みえの活動状況の共有やサポーター企業制度の紹介等を実施しました。

表4 県内企業への訪問実施件数 (目標値：年間80社以上)

月	訪問	月	訪問
4月	4	4月	0
5月	3	5月	4
6月	3	6月	0
7月	6	7月	1
8月	28	8月	0
9月	19	9月	0
10月	3	10月	0
11月	9	11月	53
12月	6	12月	6
1月	7	1月	1
2月	4	2月	0
3月	2	3月	0
計	93	計	65

(参考)昨年度県内企業訪問数

業訪問数

⑤県内大学等への訪問業務

県内就職を促進するため意見交換等を目的に、県内大学を訪問しました。新型コロナウイルス感染拡大による就職活動への影響等について情報収集を行いました。今年度は三重県が発出した三重県緊急事態宣言等により、訪問を自粛せざるを得ませんでした。

表5 県内大学への訪問 (年間計17校)

日程	訪問大学
5月	三重大学、皇學館大学、四日市大学、鈴鹿大学、鈴鹿医療科学大学、三重短期大学、高田短期大学、四日市工業高校創造ものづくり専科 計8校
11月	三重大学、鈴鹿医療科学大学、皇學館大学、三重短期大学、高田短期大学 計5校
12月	高田短期大学、三重大、四日市大、鈴鹿医療科学大、鈴鹿大 計5校

⑥県外大学等への訪問業務

新型コロナ禍がひと段落したことから、昨年度は訪問を自粛していた関西圏の大学訪問を強化し、加えて県との連携も強化し、オンラインでの面談も引き続き活用して関西圏・中京圏ともに各大学キャリアセンターと十分な情報共有を図ることができました。その結果、各大学で実施される合同企業説明会へは多くの参加企業に交じって「おしごと広場みえ」としてのブースを確保いただき、企業説明会に訪れた学生と直接する対話の機会を得ることも実現しました。

表6 県外大学への訪問実施校数

月	訪問			オンライン		
	中京圏	関西圏	計	中京圏	関西圏	計
4月	3	2	5	0	0	0
5月	3	3	6	0	0	0
6月	3	2	5	0	1	1
7月	3	4	7	0	0	0
8月	0	3	3	0	1	1
9月	4	6	10	0	1	1
10月	5	3	8	0	1	1
11月	4	2	6	2	4	6
12月	5	9	14	0	1	1
1月	4	2	6	0	0	0
2月	3	3	6	0	0	0
3月	2	0	2	6	5	11
合計	39	39	78	8	14	22

合計 100回 (目標値: 年100回 (中京圏60回、関西圏40回))

⑦関西事務所等における就職相談の実施 (オンライン相談を含む)

関西事務所における就職相談については、大学訪問時の情報共有から Web 予約の必要性を再認識し、9 月度より関西事務所でのUIターン相談の Web 予約を開始し、大学側の周知協力も得た結果、昨年度に比べて相談件数が大幅にアップし、関西事務所でのUIターン相談の認知度もアップしました。

表7 関西事務所における就職相談実施件数

月	対面	Web	合計	詳細
4月	0	0	0	関西事務所訪問 今年度の打合せ
5月	1	0	1	開催回数1回
6月	3	4	7	開催回数3回
7月	0	1	1	開催回数2回
8月	1	2	2	開催回数2回
9月	1	1	2	開催回数2回
10月	0	0	0	開催回数2回
11月	1	2	3	開催回数2回
12月	0	0	0	開催回数1回
1月	2	1	2	開催回数1回

2月	1	0	3	開催回数2回
3月	0	1	0	開催回数1回
合計	10	12	22件	※関西事務所での開催回数は計19回

合計 22回 (目標値：月2回開催)

⑧既卒女性への就職支援業務

I 女性求職者の掘り起こし

昨年度同様、女性求職者を掘り起こすことを目的とし、県内各地を巡回し、出張相談を行いました。
また、公益財団法人 三重県産業支援センター 令和4年度三重県地域活性化雇用創造プロジェクト内「女性の就職サポート事業」と連携し、女性求職者の掘り起こしを図りました。

II 女性のための就職相談窓口の設置

おしごと広場みえにおいて、女性相談窓口を設置し、相談業務を実施しました。対面およびオンラインでの相談に加え、電話、メールでの相談も受け付けました。また、月に1回程度、県内各市の子育て支援センター等を巡回し、出張相談窓口を設置しました。

子育て支援センターを利用する女性は、育児休業中で在職している方が殆どでしたが、「仕事には戻れるものの同じ部署には戻れない」や、「育児・家事と仕事の両立に不安を感じている」などの悩みを抱えている様子が窺われました。また、「夫の協力が得られない」「働きたいのに家事・育児に専念するよう要求される」など、ジェンダーに関する相談もありました。

表8 女性相談窓口相談件数

	おしごと広場みえ			県内出張相談	
	対面	オンライン	電話・メール	相談者数	開催場所
4月	0	0	0		
5月	1	0	0		
6月	4	0	0	0	1日 桑名子育て支援センター キラキラ
7月	0	0	0	0	
8月	0	0	0	0	
9月	3	0	0	2	21日 鈴鹿市 ジェフリー鈴鹿
10月	1	7	0	2	7日 名張市 子ども支援センター
11月	0	1	0	0	16日 松阪市 勤労青少年ホーム
12月	1	0	0	5	13日 伊勢市 きらら館
1月	2	1	0	4	31日 四日市市 あっぷっぷ
2月	0	0	0		【開催中止】
3月	0	0	0		【開催中止】
計	12	4	5	13	

(2)首都圏における就職支援アドバイザー事業

新型コロナウイルス感染拡大防止の制限が徐々に緩和される世の中の動きに伴い、対面での相談やイベントの件数、割合が増加しつつあります。一方で、オンラインツールを利用した相談やイベント参加スタイルも定着し、利用者の都合に合わせた「ハイブリッド」「ミックス型」での対応が求められていると考えられます。このような傾向に則した柔軟な対応で、U・Iターン就職相談や、大学との面談、イベント対応などを積極的に行い、事業実施に努めました。

①移住相談センターにおける就職相談・紹介・企業情報の提供の実施

昨年度に比べ、対面での相談件数が増加したものの、首都圏エリア以外からのオンライン利用の相談やセミナー参加も途絶えることがなく、今後も双方への対応が必要と思われます。
年代の内訳としては、30代~40代に加え、20代の相談件数も増加しています。

表9 首都圏 移住相談センターにおける就職相談・紹介・企業情報の提供の実施

	個別相談					計	新規
	対面	オンライン	電話	メール			
4月	4	2	2	7	15	6	
5月	7	4	3	2	16	12	
6月	9	3	3	22	37	13	
7月	5	3	0	9	17	5	
8月	4	2	1	5	12	6	
9月	27	1	5	3	36	31	
10月	7	3	1	3	14	9	
11月	3	2	2	4	11	4	
12月	4	3	0	1	8	7	
1月	7	13	1	11	32	20	
2月	2	2	0	3	7	4	
3月	5	1	0	5	11	4	
計	84	39	18	75	216	121	

合計216件 (目標値：就職相談件数 350件以上 (新規150以上))

②U・Iターン就職セミナーの開催 (目標値：年4回以上開催)

(1)「三重県U・Iターン就職情報セミナー 三重の移住はじめてガイド」

開催日：令和4年6月19日(日) 13:00～14:00 (セミナー後の個別相談を含む) オンライン開催

主催：三重県 共催：認定NPO法人ふるさと回帰支援センター

運営：公益財団法人 三重県労働福祉協会

参加企業：3社 (伊勢福、松阪電子計算センター株式会社、三重県商工会連合会)

参加者数：8名

(2)「三重県U・Iターン就職情報セミナー合同企業説明会」

開催日：令和4年9月15日(木) 12:30～15:30 オンライン開催

主催：三重県 共催：認定NPO法人ふるさと回帰支援センター

運営：公益財団法人 三重県労働福祉協会

参加企業：29社 (川島商事株式会社、松阪電子計算センター株式会社、株式会社東組、
紀北信用金庫、他)

参加者数：5名

(3)「みえの田舎ぐらしと仕事について語ろう！」

開催日：令和4年11月25日(金) 19:00～20:30 オンライン開催

主催：三重県 共催：認定NPO法人ふるさと回帰支援センター

運営：公益財団法人 三重県労働福祉協会

参加企業：1社 (覚田真珠株式会社)

参加者数：4名

(4)「みえの企業 to 大交流会」

開催日：令和5年3月3日(金) 12:30～15:40 オンライン開催

主催：三重県 共催：NPO法人ふるさと回帰センター

運営：公益財団法人 三重県労働福祉協会

参加企業：10社 (株式会社伊勢福、株式会社マスマグループ本社、浅井農園、三重県庁、他)

参加者数1名

③大学生のU・Iターン就職支援

大学の入構制限が緩和され、訪問しての面会機会が増え、キャリアセンター担当者とのコミュニケーション、関係構築が進めやすくなりました。一方でイベントは未だオンラインでの開催が主流(対面開催は1校のみ)となっており、学生とのコミュニケーションが十分図れない状況となっております。

表10 首都圏大学 U・Iターン就職支援実績

	就職担当課との面談 (目標値：延べ60回以上)		イベントへの参加		
	対面	オンライン	対面	オンライン	詳細
4月	3	2	0	0	
5月	2	1	0	0	
6月	6	1	0	3	2日 専修大学 (2名) 9日 早稲田大学 (1名) 16日 神奈川大学 (0名)
7月	5	4	0	0	
8月	0	0	0	1	9日 専修大学 (0名)
9月	6	2	0	0	
10月	4	1	0	1	19日 東海大学 (0名)
11月	0	0	1	1	24日 神奈川大学 (1名) 25日 専修大学 (1名)
12月	3	1	0	1	5日 帝京大学 (0名)
1月	1	0	0	1	14日 LO 活説明会 (6名)
2月	0	0	0	0	
3月	0	0	0	1	6日 東京農業大学 (0名)
計	30	12	1	9	

合計52回 (目標数値：延べ60回以上)

(3) 就職氷河期世代再チャレンジ応援窓口運営業務

①就労サポート業務

おしごと広場みえでの相談業務に加え、第1、第2の月2回、土曜開所を実施しています。また、氷河期世代についての情報をおしごと広場みえホームページに掲載し、Twitter・Facebookに記事をアップするなど、広報に努めました。

表11 カウンセリング実施件数

	対面	電話 web 音声	web 面談	チャット	メール	合計
4月	14	10	1	0	2	27
5月	13	13	2	0	0	28
6月	16	8	0	0	0	24
7月	10	5	1	0	0	16
8月	13	3	1	0	2	19
9月	12	2	0	0	2	16
10月	19	5	4	0	2	32
11月	27	0	5	0	0	36
12月	25	1	3	0	1	30
1月	33	5	6	0	0	44
2月	26	4	1	0	1	32
3月	30	3	1	0	3	37
合計	238	59	25	0	13	335

②業所開拓業務

多くの企業・関連機関を訪問し、事業の周知及び協力要請を行いました（別紙 8 参照）

表 12 事業所訪問件数

	事業所訪問	WEB 面談	計	就業体験・社会体験受入事業所数
4月	7	0	7	3
5月	8	0	8	2
6月	14	0	14	2
7月	14	0	14	2
8月	22	0	22	1
9月	16	0	16	1
10月	9	0	9	0
11月	18	0	18	2
12月	15	0	15	0
1月	8	0	8	1
2月	5	0	5	1
3月	7	0	5	2
合計	143	0	143	17

合計 128 件（目標値：県内事業所訪問 120 件）

③事業所向けセミナー開催業務

(1) 就職氷河期世代活躍支援プロジェクト

10月20日（木） オンライン開催

主催：三重県 企画・運営：三重県労働福祉協会 おしごと広場みえ内 マイチャレ三重

・第一部 テーマ：「就職氷河期世代の採用を考える事業主向け助成金の紹介」

講師：三重労働局

・第二部 テーマ：「少子化による人出不足を企業がどう乗り越えるか

～就職氷河期世代の採用にチャンスあり～

講師：曾和利光氏（株式会社人材研究所）

参加者数：31名

④支援機関研修会開催業務

(1) 第1回 就職氷河期世代支援機関研修会

2月10日（金） 13:30～15:30

主催：三重県 企画・運営：三重県労働福祉協会 おしごと広場みえ内 マイチャレ三重

テーマ：「相談者の多様な背景に応じた支援のあり方」

講師：川北 稔氏（愛知教育大学准教授）

参加者数：来場参加：20名／オンライン参加：7名

⑤合同企業説明会開催業務

(1) マイチャレ三重 合同企業説明会

① 8月5日（金）、6日（土）

会場：アスト津5階 ギャラリー

主催：三重県 企画・運営：三重県労働福祉協会 おしごと広場みえ内 マイチャレ三重

参加企業数：のべ25社

参加企業

株式会社マツザカ、オザワ科学株式会社、大宝運輸株式会社、株式会社東産業、

豊田合成日乃出株式会社、サンユウ技研株式会社、株式会社中勢ゴム、

三重交通株式会社、株式会社三交イン、社会福祉法人洗心福祉会、エヌ・エス・ケー

株式会社コメリ、港屋珈琲、三重ダイハツ株式会社、株式会社エヌ・エス・アイ
大同生命保険株式会社、株式会社パーソナック、株式会社タヤマ
参加者数：のべ21名

② 12月2日（金）、3日（土）（別紙12）

会場：四日市市地場産業振興センター

主催：三重県 企画・運営：三重県労働福祉協会 おしごと広場みえ内 マイチャレ三重

参加企業数：のべ22社

参加企業：株式会社東産業、エヌ・エス・ケーテクノ、三重交通株式会社、港屋珈琲、
株式会社安塾、サンコーテック株式会社、株式会社丸協産業、
社会会福祉法人四日市福祉会、近物レックス株式会社、
株式会社松坂電子計算センター、株式会社FEED、三井住友金属鉱山伸銅株式会社、
前田運送株式会社

参加人数：18名

③ 11月12日（土）

会場：伊勢市労働福祉会館

主催：三重県 企画・運営：三重県労働福祉協会 おしごと広場みえ内 マイチャレ三重

参加企業数：4社

参加企業：株式会社安藤塾、株式会社伊勢福、株式会社伊勢警備保障、株式会社戸田家

参加人数：6

（4）運営管理に係る業務

①運営・管理

利用者情報の登録管理

利用・就職状況の把握

（ア）延べ利用者、新規登録者、就職者数及び就職率について把握し、毎月「現場代表者会議」にて関係機関と共有しました。

（イ）利用者アンケートの実施

今年度は10月・2月の2回実施しました。

（ウ）土曜相談年間利用者数

運営事業年間利用者数 189名

氷河期事業年鑑利用者数 76名

合計 265名

利用者情報の分析や評価検証、活用

ア. 利用者、新規登録者、就職者数及び就職率についての集計を行いました。

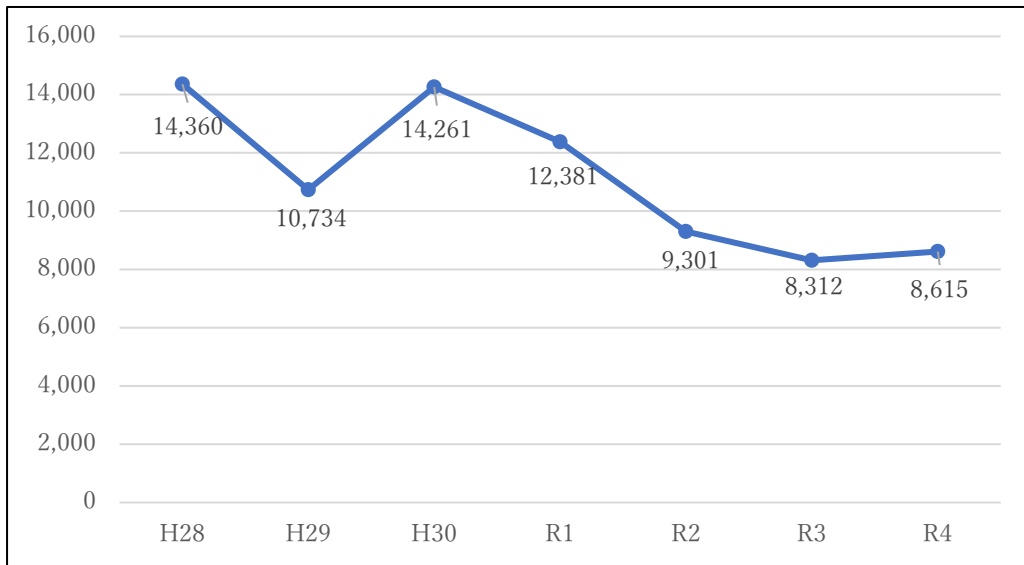
(ア) 延べ利用者数：(年度目標) 13,500人

対前年比：103.6%

表 14 延べ利用者数

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
年度合計	14,360	10,734	14,261	12,381	9,301	8,312	8,615

図 1 延べ利用者数



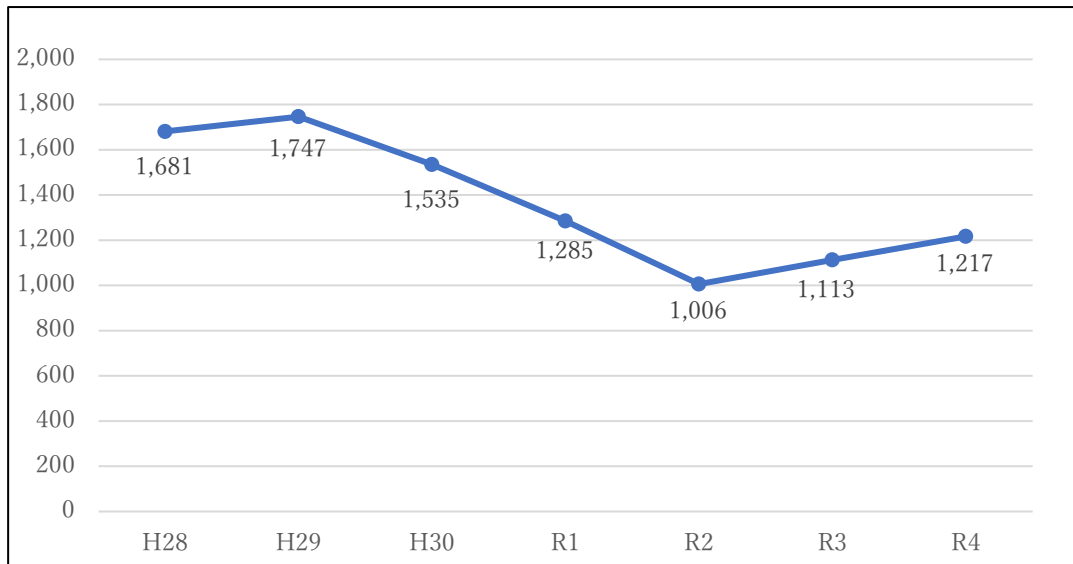
(イ) 新規登録者数：(年度目標) 2,430人

対前年比：109.3%

表 15 新規登録者

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
年度合計	1,681	1,747	1,535	1,285	1,006	1,113	1,217

図 2 新規登録者数



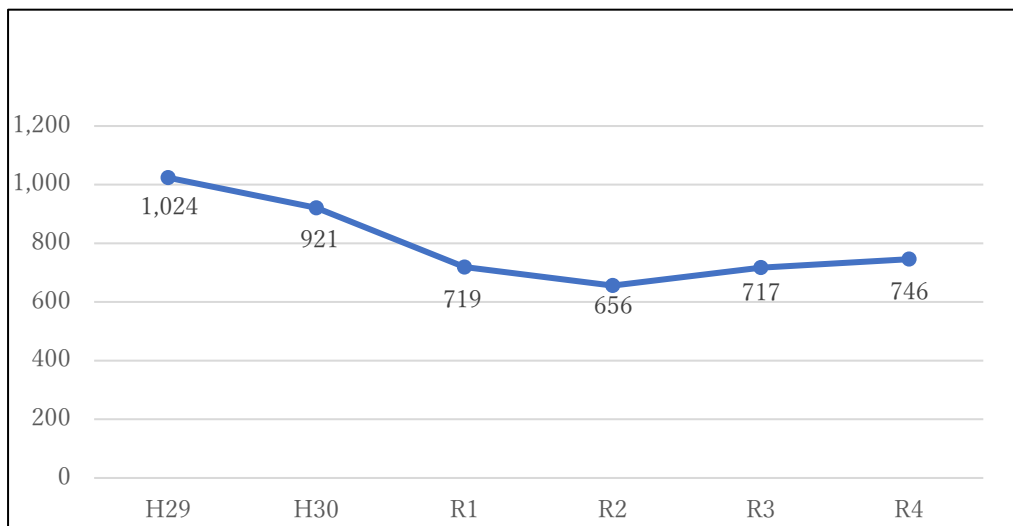
(ウ) 就職者数

対前年比：104.0%

表 16 就職者数

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
年度合計	938	1,024	921	719	656	717	746

図 3 就職者数



イ. 利用者情報の分析を行い、支援サービスの成果や課題を把握し、新たなサービスの提案及びサービスの見直しに活用しました。

(ア) 施設利用者の解析

施設利用者数：8,615名

目標数値：13,500名

4月・5月は、若年者地域連携事業の実績が0になっていることと、新卒応援HW利用者が大きく減少していること、県内大学出張相談（4月からは新卒応援HWのみが実施）やHW出張相談（若年者地域連携事業受託者が実施することになっているが4月度はできていない）の減少、さらには他セミナーとして三重大学PRガイダンス参加者（R3年921名からR4年653名とマイナス268名）が大きく減少していることが要因と考えられます。

6月・7月も、若年者地域連携事業の実績が無く、新卒応援HW利用者、特に求人検索や紹介状発行に訪れる利用者が大きく減少しており、これはハローワークインターネットサービスの周知が進んだことから、ハローワークに来なくても求人検索や企業への応募が可能になったことによる減少と考えられます。その他、セミナー利用者も減少しており、8月においても139名の減少となりました。その要因として、(公財)三重県中小企業中央会主催の「みえの就職・転職フェア」が開催されなかったことや、

例年若年者地域連携事業で実施していたセミナーが開催されなかったことが挙げられます。

9月については、昨年同月比153名増加、じぶん発見セミナーや、三重短大就職対策講座等の参加者が増えたこと、若年者地域連携事業のミニ合説が開催されたことやマイチャレ三重の相談者が増えたことによるものです。10月・11月は公務員試験対策として、個別相談に加えて就職対策セミナーや模擬面接を開催したことで、運営事業利用者が大幅に増えていること、氷河期事業利用者も昨年度の4.5倍以上と増えているものの、若年者地域連携事業の実績分の減少、及び求人検索・職業相談・HW開催模擬面接など、新卒応援HWの利用者が軒並み減少しているのも原因の一つかと思われます。また、じぶん発見セミナーの利用者も大きく減少しており、表立ってセミナーのPRができないことによる影響が出ているものと思われます。

12月は昨年度に比べて189名減少、運営事業利用者及び氷河期事業利用者は増えているものの、若年者地域連携事業の実績分の減少や、サポステ利用者の減少も原因の一つかと思われます。1月は昨年度に比べて127名増加、HW求人検索・職業相談・添削&面接対策などHW利用者及びサポステ利用者が減

少しているものの、県内大学におけるPRガイダンス・登録会の利用者数の増加が大きな要因と思われ、加えて、氷河期事業利用者数が昨年度の3.7倍と、大きく増加していることも利用者増加の要因の一つと考えます。2月は昨年度に比べて518名増加、HW求人検索・職業相談・添削&面接対策などHW利用者が減少しているものの、県内大学における出張相談・出張セミナー利用者数の増加が大きな要因と思われ、また土曜相談を中心とした氷河期事業利用者数が、昨年度の5倍以上と大きく増加しています。

3月は昨年度に比べて215名増加しています。求人検索・職業相談・添削&面接対策などHW利用者が減少しているものの、運営事業相談件数が昨年の1.8倍に増えていることや、県事業で実施している模擬面接の件数も伸びており、また、県内商工会議所主催の合同企業説明会参加者や、県内大学等における出張相談・出張セミナー利用者数も増加、土曜相談を中心とした氷河期事業利用者数も、昨年度の4倍以上と2月に続き大きく増加しました。

(イ) 新規登録者の解析

新規登録者数：1,217名 目標数値：2,430名

新規登録者についても、4月・5月は昨年度実施されたイベント等が減ったことにより新規登録者が昨年度を下回りましたが、6月以降は増加に転じました。これは、四日市大学登録会実施や公務員対策希望者が増加したことが要因だと考えます。昨年に引き続き6月・9月に行った街頭啓発活動も、新規登録者の増加に寄与したと考えます。

10月・11月は、延べ利用者数と同様、若年者地域連携事業や新卒応援HWの利用者の減少が影響しているものと思われ、12月も昨年度より35名減少し、これは県内大学における登録会に参加できず、新規学卒者の登録ができなかったことが影響しているものと思われ、

1月は昨年度より12名減少、例年この時期に若年者地域連携事業にて開催していた「就活デビュー講座」が開催されなくなり、代わりに県の運営事業にて規模を縮小して実施することになった等の影響によるものと考えます。2月は昨年度より24名増加、利用者数同様、県内大学における出張相談・出張セミナー、及び今年度県事業で実施している「就活デビュー講座」における新規登録者の増加によるものと考えます。

3月につきましては、昨年度より48名増加、利用者数同様、県事業相談や県内大学における出張相談・出張セミナー利用者、及び今年度県事業で実施している就活デビュー講座や模擬面接利用者における新規登録者の増加によるものと考えます。

(ウ) 新規登録者の就職率の解析

新規登録者の就職率：61.3% 目標数値：62.7%

4月は昨年度より34名減少しましたが、これは利用者数及び新規登録者数の減少に伴うものですが、5月からは増加に転じました。これは新卒学生の内定、特に短大生の内定が増加の要因で、公務員受験者や一部の内定報告はあるものの、全数を把握できていない状況にあります。

また、延べ利用者数と同様、若年者地域連携事業や新卒応援HWの利用者の減少が影響しているものと思われ、12月の職者数は昨年度より12名増加しており、これは後期公務員試験の結果が反映されたものと考えます。1月度の就職者数は昨年度より7名減少、2月の就職者数は昨年度より14名増加しました。また、3月の就職者数は昨年度より126名増加、追跡調査を実施し、就職決定者の把握に努めた結果と捉えています。

Ⅲ 職員の資質向上

若者就業サポートステーション・みえを含むおしごと広場みえ関係機関と連携した研修会を開き、職員の資質向上を図りました。

表17 若者就労支援者ミーティング：職員の資質向上

開催日	テーマ	講師
5月30日	「三重で働く！三重で暮らす！」	三重県雇用経済部雇用対策課 若者・女性雇用班 主幹 西峰 淳氏
6月27日	「職業訓練」について	三重県立津高等技術学校 平賀 匠氏 堀部 折美氏
6月25日	「四日市商工会議所使用支援事業」について	四日市商工会議所 商工振興部 商工振興課

		課長 水谷 貴信氏
8月29日	講師都合により開催中止	
9月26日	「昨今の学生の就職に対する意識」	四日市大学教育・学生キャリアサポート課 課長 伊藤 直司氏
10月24日	「IT 業界地図」	(株) 松阪電子計算センター 公共システム本部 本部長 稲垣 健司氏
11月28日	「伊賀社協の生活困窮者支援事業」について	社会福祉法人 伊賀社会福祉協議会 メタルクラフト科 主査 平賀 匠氏
11月29日	ポリテクセンターと職業訓練	三重県職業能力開発促進センター くらし支援課 課長 寺田 浩和氏
12月19日	「県内観光業のコロナ禍への対応と今後」について	戸田屋 課長代理 中村 国政 氏
1月30日	「農業の今昔と今後」について	株式会社もりファーム 代表取締役 森 和彦 氏
2月6日	「三重県立津高等技術学校の新カリキュラム」について	三重県立高等技術学校 メタルクラフト科 教諭 小牧 明美 氏
3月	【開催中止】	〃
		計 10 回

IV 広報

ア. 広報物の作成と配布

(ア) 街頭啓発活動

6月19日 三重県職員、津市職員採用試験受験者に対して、広報チラシの配布

9月18日 三重県職員、三重県警職員、津市職員、鈴鹿市職員採用試験受験者に対して、広報チラシの配布

9月25日 三重県職員採用試験受験者に対して、広報チラシの配布

(イ) 県内高等学校（県立・私立）卒業生への周知

12月～3月 「おしごと広場みえ」チラシ配布

県立高等学校（全日制、定時制、通信制）17校 11,130 名 私立高校10校 3,370名

イ. インターネット等による広報

(ア) おしごと広場みえホームページの改修

10月13日 ホームページの改修

(イ) ホームページの更新 : 194回

(ウ) SNSの更新

Facebook 投稿 : 18件、フォロワー : 144人（昨年度3月末から+3人）

Twitter 投稿 : 63件、フォロワー : 262人（昨年度3月末から+64人）

(エ) メルマガの発信（別紙18参照）

企業等向け・大学向け（県外）のメルマガ発信 : 計14件

(オ) 学内PRガイダンス

4月13日 三重大学PRガイダンス（オンライン）

4月15日 三重大大学PRガイダンス（オンライン）

6月8日 四日市大学PRガイダンス・登録会

11月1日 鳥羽商船高等専門学校就職ガイダンス

11月29日 鳥羽商船高等専門学校就職ガイダンス

11月30日 愛知学院大学U・Iターン就職ガイダンス

12月14日 皇學館大学PRガイダンス・登録会

1月11日 皇學館大学PRガイダンス・登録会

V 県内企業のデータ管理

- ア. みえの企業まるわかり NAVI (県内企業のデータベース) 管理
 掲載内容の変更を随時受け付け、その都度編集対応をしてきました。
 登録企業 488 社
 更新企業 14 社 (3 月末日時点)
 新規掲載 52 社 ※新規拡充事業は三重県産業支援センターが受託、実施
 (10 月末から 1 月にかけて順次掲載)
- イ. おしごと広場みえサポーター企業データ管理
 新規登録企業 141 社
 登録企業 576 社

VI その他 おしごと広場みえの管理運営に必要な業務

- ア. 新型コロナウイルス感染症対策
 (ア) 利用者対応
 ・来場者に手指消毒、検温協力依頼しました。合同企業説明会等のイベントについても同様の対応を行いました。
- (イ) 事務スペースにおける飛沫感染防止パネルの設置
- (ウ) 相談フロアにおける飛沫感染防止パネルの変更
- (エ) 職員についても、出勤前の検温・報告を徹底しました。

イ. 開所時間の延長

- (イ) 下記の日程は、公務員試験対策希望者が増加したため、土日開所および平日の相談時間延長を実施し対応しました。

【公務員試験対策のための臨時開所日】

7月18日(日)	利用者数: 21名
8月24日(土)	利用者数: 8名
10月10日(祝)	利用者数: 12名
10月15日(土)	利用者数: 16名
10月22日(土)	利用者数: 3名

計 60 名

②受付業務: 総合受付

- ・初めての来訪者への利用方法等の概要説明
- ・受付データの入力・集計及びリストの整理・作成とデータのバックアップを2人シフト体制で運用
- ・おしごと広場みえの受付管理項目の維持・改善、報告: 延べ利用者数、新規登録者数、就職者数、就職率を集計し、報告する体制をとりました。(月報データの集計含む)

③統括マネジメント業務

毎月の利用状況等を踏まえ、関係機関へのフィードバックを進めてきました。延べ利用者数・新規登録者数・新規登録者の就職者数とも、昨年度を上回る結果となりました。

街頭啓発活動に注力するなど、利用者増加に努めてきた成果だと考えます。

今後も引き続き、利用者へのサービス向上及び新たな利用者開拓に向けて取り組んでいきたいと思っております。

I おしごと広場みえ構成機関及び関係機関との連携

ア 「現場代表者会議」

原則毎月第1木曜日および臨時開催主催

【出席者】

三重県：西峰主幹（～10月）、新卒応援HW：近藤、若年者地域連携事業：田村（～9月）

山本（10月～）サポステ：中川、おしごと広場みえ運営事業：田米（～6月）・彦坂（9月～）

・水井、マイチャレ三重：森部（～6月）伊藤（7月～）

【開催日】

5月26日、6月9日、7月5日、8月2日、9月2日

10月4日、11月1日、12月6日、1月10日、2月7日、3月7日

II 県事業との連携

サポーター企業の登録拡大（前年より28社増加、計483社）およびサポーター企業への県イベントの広報、県内出身学生保護者へのメールマガジン送信、みえの企業まるわかりNAVIサイトの維持・管理（依頼があった14件のページを編集・更新）などを進めてきました。

7. 事業目標、事業計画及び報告

1. 事業目標

表18 事業目標

事業目標	年間目標	結果	前年度結果	対前年比 (%)
延べ利用者数 (人)	13,500	8,615	8,312	103.6%
新規登録者数 (人)	2,430	1,217	1,113	109.3%
県内企業への就職率	63.4%	65.4%	—	—

今年度の特徴としては、①公務員試験応募者からの相談が多かったこと、②土曜相談を中心に「就職氷河世代」の利用者が昨年比、4倍と増加したこと。③若年者地域連携事業のスタートが遅れましたが、運営総合事業として新たな取り組みである、「就活デビュー講座」の展開や、インターンシップ説明会を開催し、利用者目線に立った事業に注力したこと。などが挙げられます。これらの要因により、三重県の優先課題の一つである県内就職率の向上、県内就職率 KPI（重要業績評価指標） 63.4%に対し65.4%と達成することができました。

【令和5年度目標項目】

- ・オンラインシステム構築
- ・目標項目（数値）の必達
- ・利用者満足度の向上
- ・関係機関との連携

三重労働局 受託事業

地域若者サポートステーション事業 令和4年度事業実績報告

【事業目標／実績】

項目	目標	実績	
①就職率(全体) 60%⇒65.8%に修正	65.8%	63.4%	123/194
うち職場体験プログラム参加者就職率	50.0%	81%	46/57
②就職等率(40代無業者)	35.0%	18%	2/11
③定着率 69%⇒73.8%に修正	73.8%	89.8%	
④利用者満足度	90.0%	100%	
⑤新規登録件数	220件	194件	
⑥就職等件数 上記修正により132件⇒145件	145件	123件	
⑦中退者情報共有件数	5件	3件	
⑧アウトリーチ支援件数	10件	0件	
⑨アウトリーチ支援によるサポステへの誘導件数	5件	0件	
⑩相談件数	2500件	1900件	
⑪職場体験件数	60件	57件	

1 相談支援事業

【1】相談支援窓口の設置

(1)拠点相談窓口

〒514-0009

津市羽所町700 アスト津ビル3階

月～金、第2・第4土曜 9:00～18:00、(祝日・年末年始は除く)

①拠点相談 相談件数:1900件 (うち拠点面談:950件)

若者就業サポートステーション・みえ

就職氷河期世代就労支援センター(サポステ・プラス)

(2)出張相談窓口

②出張相談

- ・亀山市(15件):亀山市羽若町7-10 青少年総合支援センター 毎月第1金曜日 13:00～17:00
- ・鈴鹿市(60件):鈴鹿市神戸1丁目18-18 鈴鹿市役所 7F 毎月第2・4水曜日 13:00～17:00
- ・松阪市(110件):松阪市本町 松阪市産業振興センター 毎月第2・4金曜日 13:00～17:00
- ・臨時出張相談(54件)
- ・ハローワーク鈴鹿(23件)
- ・ハローワーク津(18件、セミナー54件/7回)
- ・ハローワーク松阪(45件)
- ・電話相談(545件)
- ・メール相談(0件)

(3) 相談支援事業

① 基盤的支援メニュー

職場体験説明会	33人	17回
パソコンクラブ	16人	11回
自分未来予想図	3人	1回
GATB(紙筆)	21人	7回
GATB(器具)	13人	5回
ウォーキングクラブ	10人	1回
計	96人	42回

② 実践的支援メニュー

アルバイト活動入門セミナー①～④	56人	3回
面接トレーニング	9人	3回
労基法	7人	3回
アサーション&メンタルヘルス	11人	2回
計	83人	11回

③ 職場体験プログラム:57名

- ・体験先に就職:40名
- ・体験先以外に就職:6名
- ・未就職:10名
- ・中止:1名
- ・職場体験先 開拓件数

業種	開拓件数
製造業	23
卸売・小売業	14
医療・福祉(介護)	10
生活・関連サービス(清掃)	6
宿泊・飲食業	5
運輸業	3
教育	2
農林水産業	2
前記では分類できない事業	10
計	75

④ 定着ステップアップ:同窓会

- ・9月11日:サポステ卒業者12名、退職職員2名、職員6名

(4) 高校連携に関するもの

- ① 中退者情報把握について:3件
 - ・対象地域全高校リーフレット配布
 - ・県教育委員会との連携(随時)
- ② 進路未決定卒業者への支援

(5) その他

- ・三重県労働福祉協会が津市より受託している「津市生活困窮者及び被保護者就労準備支援事業」と連携し、サポステ事業の対象外となった年齢層をリファー、また、生活困窮者でサポステの支援対象年齢の方に職場体験を案内するなど支援の協力体制も整った。
- ・「松阪市生活相談支援」と連携し、就労以外にも課題を抱えた利用者の包括的な支援にあたった。

(6) 広報について

- ①カード:ハローワーク内で配布するものを随時作成した。
- ②リーフレットのポスティング
- ③ホームページ
 - ・情報は常に最新のものを掲示した。
 - ・言葉の表現は簡潔で明確に、セミナー等の写真を掲載した。
 - ・実施したセミナーやイベント情報も随時掲載した。
- ④広報誌
 - ・担当市町の広報誌への掲載依頼をした(1回/月)
(鈴鹿市・亀山市・津市・松阪市)
- ⑤就職情報誌アドサンアイ(裏表紙1面)
就職情報誌裏表紙一面にサポステ案内を掲載した(8月2回、3月2回)
- ⑥津市の広報誌「広報つ」にチラシを折り込み、125,000世帯各戸配布した。
- ⑦労働局・ハローワークとの連携
 - ・三重労働局主催の就職フェア等でリーフレットを配布した。
 - ・ハローワーク内に「出張相談」「職場体験」「就職氷河期世代就労支援センター」のリーフレットの設置を依頼した。

三重県 受託事業

ジョブエスコート事業 令和4年度事業実績報告

①職場ふれあい事業

- ・職場見学:53人/53回
- ・就労体験:8名
 - ・体験先に就職:7名
 - ・体験先以外に就職:0名
 - ・未就職:1名

②長期無業者理解促進

- ・親の集い:23人/8回
- ・コミュニケーション講座:12人/3回

③サポステPRセミナー

- ・氷河期世代支援セミナー:12月15日 29人/1回
関係機関に案内チラシ配布:975枚
ファミリーマートに案内ポスター掲示:362店舗

④社会体験(ボランティア)

クロネコヤマトラベル貼り	50人	12回
介護労働安定センター封入作業	57人	14回
津ユネスコ協会使用済み切手整理	15人	7回
広報つチラシ折り込み	22人	4回
三重県総合文化センターイベント	7人	1回
松阪マラソン	6人	1回
計	157人	39回

⑤ジョブトレーニング(就労前スキルアップ訓練)

手作り工房	7人	2回
若者の集い	63人	12回
コラージュ	21人	4回
計	91人	18回

三重労働局 受託事業

ジョブ・カード作成支援推進事業 令和4年度事業実績報告

1. 主旨・目的

訓練受講希望者等に対して、生涯を通じたキャリア・プランニングを促し、職業選択やキャリア形成の方向付けの支援を行うため、民間事業者を活用して、ジョブ・カードの作成支援を推進する。

2. 人員体制

事業責任者（兼キャリアコンサルタント） 1名 常勤・専任
 事務補助者 1名 常勤・専任
 キャリアコンサルタント 9名 雇用2名、業務委託7名

3. 事業内容

(1) 公共職業安定所利用者に対するジョブ・カードの周知・広報業務

ハローワーク利用者を対象にしたセミナーの開催、チラシの配布等を通して、ジョブ・カードの周知・広報を行う。

(2) 訓練受講希望者等に対するジョブ・カードの作成支援業務

方法：三重県下ハローワーク計7カ所に、規定の研修を修了したキャリアコンサルタントを巡回・常駐させ、訓練受講希望者等に対して訓練前キャリアコンサルティングを行う。
 スケジュールは下記のとおり。尾鷲・熊野は予約が入り次第実施。

月	火	水	木	金
津	津	津	津	津
四日市		四日市	四日市	
鈴鹿	伊賀	松阪	伊勢	桑名

対象者：①専門実践教育訓練の受講希望者

- ①-2 特定一般教育訓練の受講希望者
- ②雇用型訓練の受講希望者
- ③日本版デュアルシステムの受講希望者
- ④長期高度人材育成コースの受講希望者
- ⑤公的職業訓練の受講希望者
- ⑥積極的キャリア形成支援が必要な者

(3) 訓練受講希望者等におけるジョブ・カードの活用効果分析業務

キャリアコンサルティング終了者に対してアンケートを実施し、半期ごとに集計、効果を分析する。

4. 実績

(1) ジョブ・カードの周知・広報業務

・巡回ハローワークでのセミナー 実施回数 88回 参加人数 386名 うちキャリアコン申込 73名

安定所	桑名	四日市	鈴鹿	伊賀	津	松阪	伊勢	尾鷲	熊野
実施回数	12	12	12	12	12	12	12	2	2
参加人数	56	68	16	26	115	76	18	8	3
キャリアコン申込	10	11	6	6	11	24	5	0	0

(2) ジョブ・カードの作成支援業務

・のべ相談件数 926 件 月ごとの実人数計 850 名※ ジョブ・カード完成件数 764 件

対象者区分	①	①-2	②	③	④	⑤	⑥
実人数	498	32	8	56	66	60	130
延べ件数	511	33	11	60	71	72	168
ジョブ・カード完成件数	487	32	11	51	63	54	66

※労働局の書式に則って、毎月区分ごとに集計した数を12カ月分合計した数。

月をまたぐ相談や区分変更する相談者もあるため、実際に支援した実人数は797名となる。

(3) ジョブ・カードの活用効果分析業務

- ・全申込者 848 人（昨年度からの継続 3 人含む）のうち、キャンセル 51 人を除く 797 人に対して、延べ 926 件の支援を実施。
 - ・一人当たりの相談回数 1.16 回、ジョブ・カード取得 764 件（取得率 95.8%）。
- （以下、アンケート結果については次ページ以降のグラフも参照）
- ・相談終了者 780 人に実施し 757 枚を回収、回収率 97.0%。
 - ・年間を通した男女比は男性 35：女性 63（不明 2）で、男性の割合が令和3年度より上昇。また毎年の傾向ながら、60代以上で男女比が逆転する結果となった。
 - ・755 人（94.7%）の利用者が「役に立った」「まあまあ役に立った」と回答。「あまり役に立たなかった」「全く役に立たなかった」は0、未回答が1人（0.1%）あった。

5. 成果と課題

- ・令和3年度と比較して、延べ相談件数（810→926件）・ジョブ・カード取得件数（643→764件）共に増加し、過去最高記録を更新した。
- ・雇用保険説明会等での利用を企図してチラシを作成し、各安定所に配布（トータル17,000部）。セミナー資料は厚労省の改訂ごとに都度見直し（計3回）、参加者に配布。
- ・セミナー参加者は386名（令和3年度306名）、そのうちキャリアコン申し込みにつながったのが73名（令和3年度56名）あり、令和3年度を上回る結果となった。
- ・9月に開設したウェブサイトについて、ホームページの閲覧はトータル8,574アクセス、サイトを通じた予約は徐々に増えトータル58件となった。

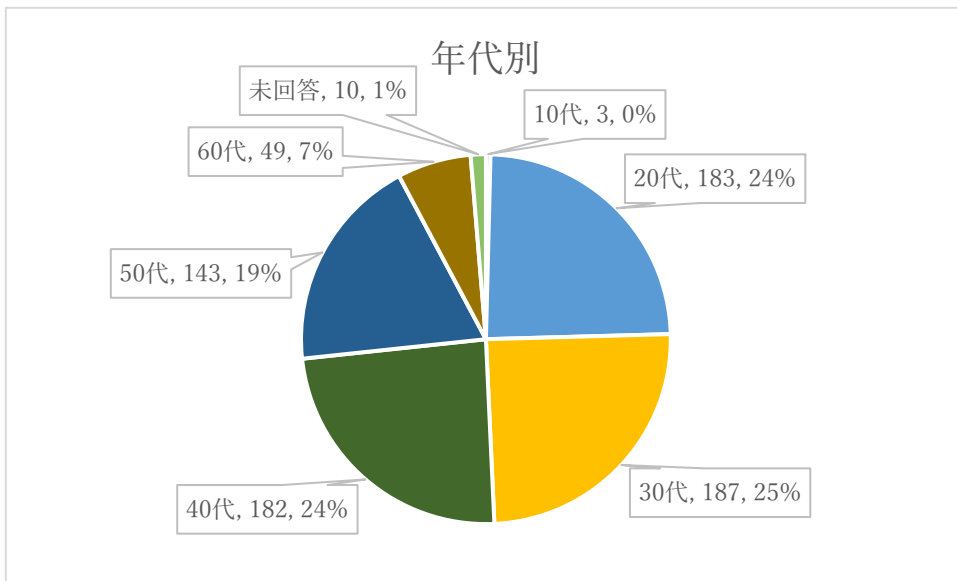
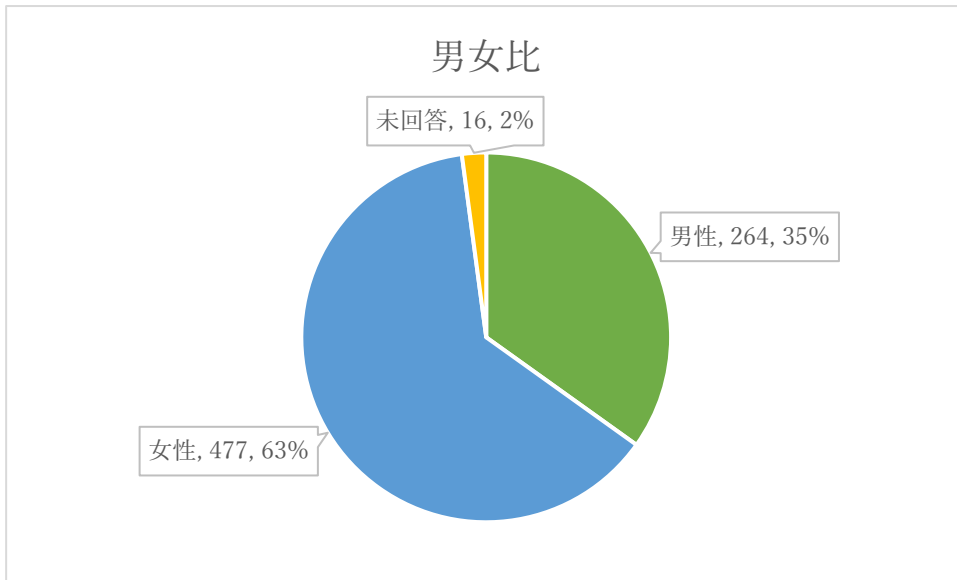
三重県がジョブ・カード作成支援推進事業へ参画したのは平成26年8月の事業スタート当初であり、労働局担当者と一緒に手探りで一から作り上げてきた感覚がある。その後全国に導入され、徐々に制度が認知されるようになり、ジョブ・カード取得者数は毎年右肩上がりが増えていく。人生100年時代において、年齢・性別を問わず学び直しを選択する人は増えており、制度が続く限り利用者も増えるだろう。

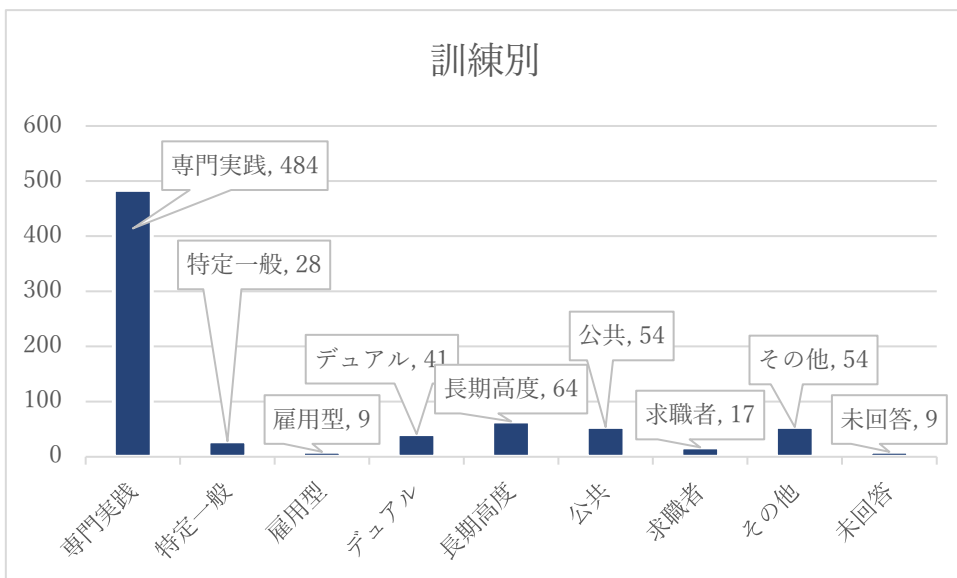
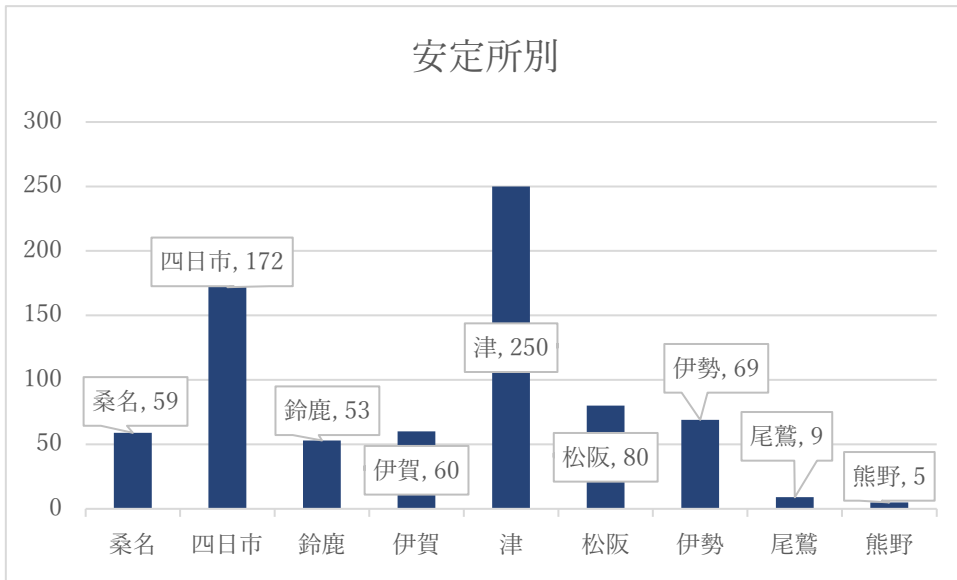
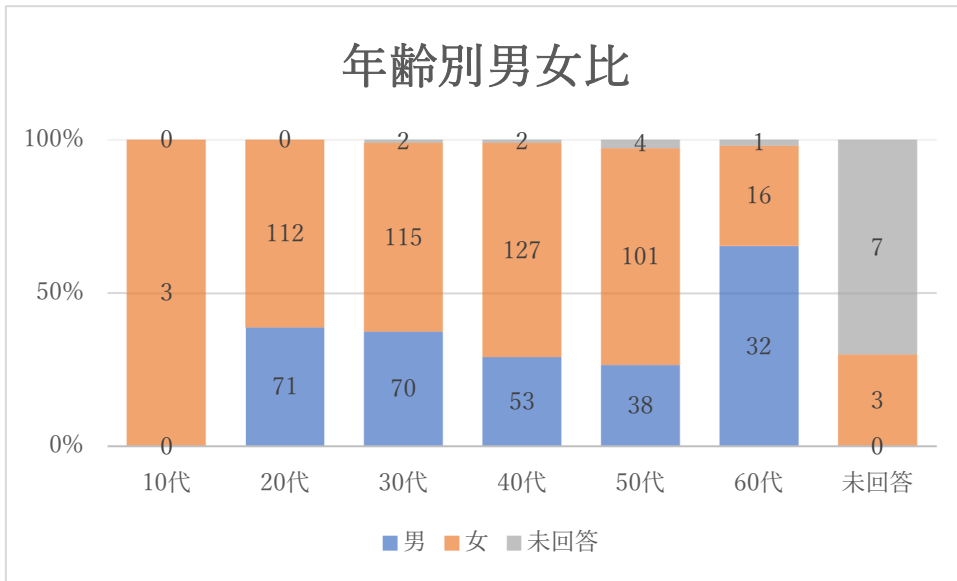
ジョブ・カードを作ることは自分自身を振り返るということであり、面倒で時間のかかる作業である。その面倒くささを乗り越えてキャリアコンサルティングを受けた利用者のほとんどが、何かしら役に立ったと評価していること、加えて多くの利用者が感謝の言葉をアンケートに記載してくれていることは、本事業受託者として誇るべき成果だと言えよう。

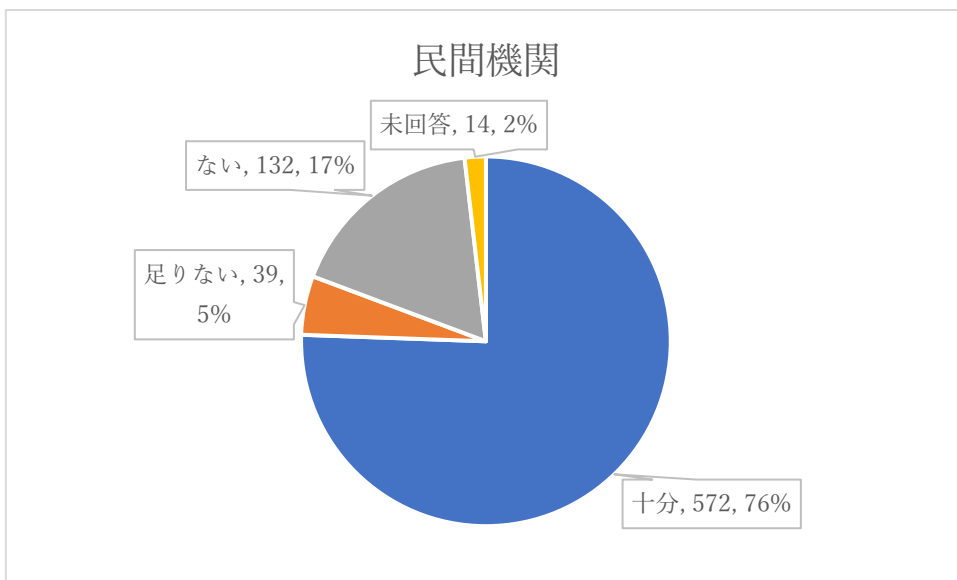
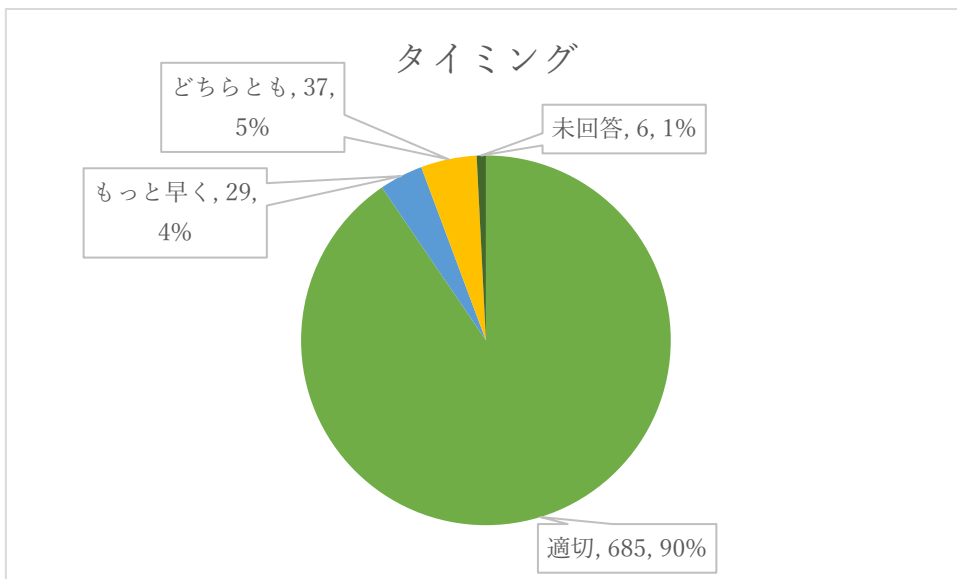
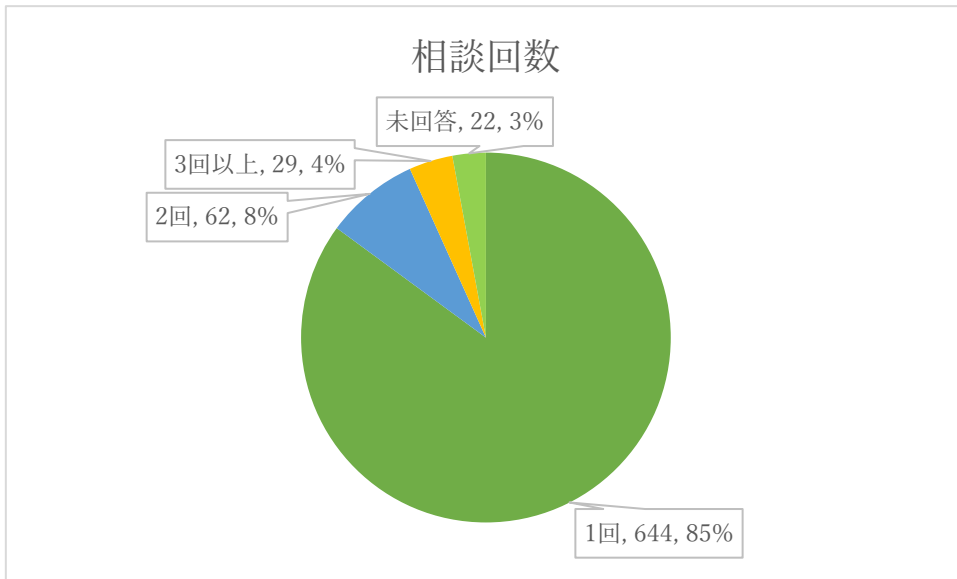
産業カウンセラー協会時代から数えると、8年8カ月にわたり地域密着型で利用者に寄り添う支援が高評価をいただいていたわけだが、残念ながら令和5年度は全国的に受託している他事業者が落札した。

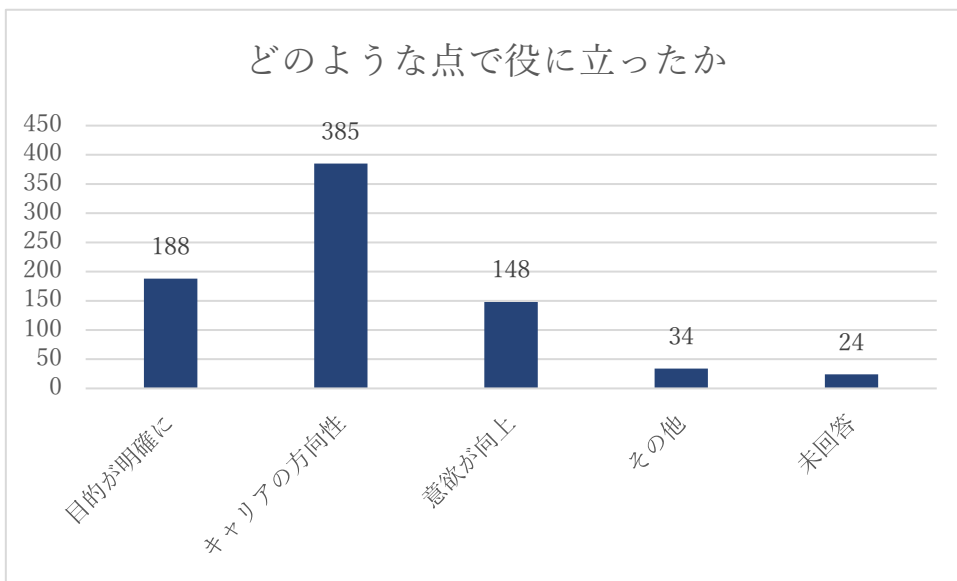
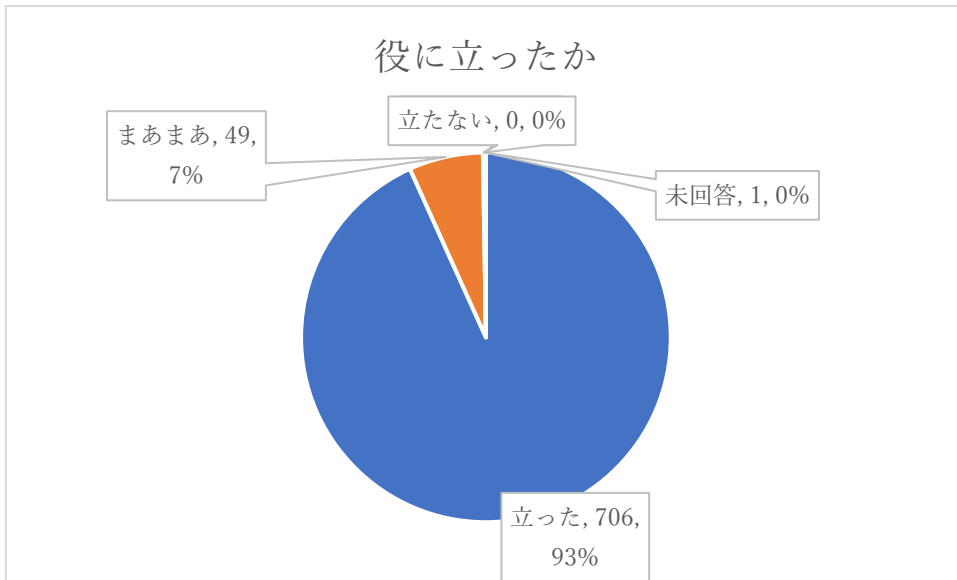
反省点としては、他事業者の参入が予想できたことに加え、今までと異なる動き（面談のオンライン化、プレゼンなし、鈴鹿と伊勢の曜日入替など）があったにも関わらず、提案書作成を事業責任者がほぼ単独で進めていたことが挙げられる。危機感を持ち、早い段階から本事業メンバーや協会職員を巻き込んで、戦略をしっかりと練っておくべきであった。

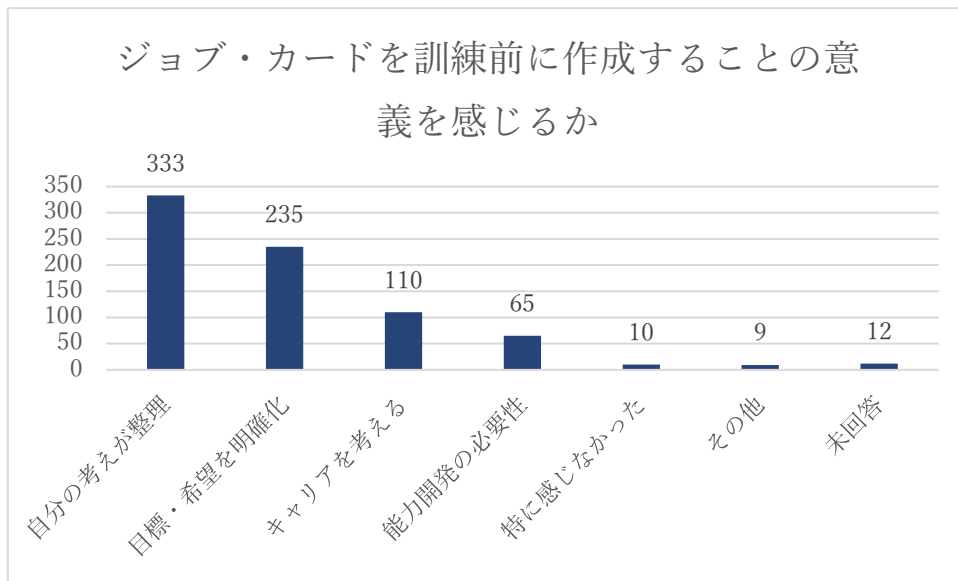
新しい事業所での業務委託を選択せざるを得なかったキャリアコンサルタントもいるが、人的資源に配慮しない事業所の対応が現場の混乱と不安を招いていると聞く。事業者変更に伴う行き違いはある程度仕方ないにしても、現場のキャリアコンサルタントが安心できる環境があつてこそ、本領を發揮できるものとする。今後オンライン化に対応しつつ、質を保った事業として継続されることを願う。











津市 受託事業

生活困窮者及び被保護者就労準備支援事業 令和4年度事業実績報告

1. 就労準備支援事業 平成27年度、生活困窮者自立支援法の施行に伴って創設された新たな支援制度。従来の雇用施策の枠組みでの支援になじまない層に対する支援を強化・充実させるための事業。

(1) 支援事業

- 人員体制

就労準備支援担当者	1名
就労準備支援担当者補助	1名 (非常勤)
就労準備支援担当者 (キャリアコンサルタント)	1名 (サポステ事業兼務)

- 支援対象

津市が就労準備支援事業による支援が必要と認める生活困窮者
就労意欲や生活能力・移動能力が低いなど、就労に向けた課題を多く抱える被保護者で、当事業への参加を希望する者

具体的には、

 - ・決まった時間に起床、就寝できない等、生活習慣の形成・改善が必要
 - ・他者との関わりに不安を抱えており、コミュニケーション能力などの社会参加能力の形成・改善が必要
 - ・自尊感情や自己有用感を喪失している
 - ・就労の意欲が希薄、又は就労に関する能力が低い

など、ハローワークにおける職業紹介、職業訓練等の従来の雇用施策によっては直ちに就労が困難な者

- 支援内容

就労準備支援プログラムの作成・見直し

 - ・日常生活自立に関する支援
 - ・社会生活自立に関する支援
 - ・就労自立に関する支援

(2) 成果

津市が、当該事業による支援を必要と認めた生活困窮者及び被保護者

14名 (前年同期 18名)

生活困窮者	1名	50歳代1名
被保護者	10名	40歳代3名、50歳代3名、60歳代4名

そのうち支援終了 3名 (前年同期 7名)

生活困窮者	1名	50歳代1名 (就労継続支援施設にて就労安定のため支援終了)
被保護者	2名	50歳代1名 (一般就労できたことにより支援終了) 60歳代1名 (就労継続支援施設にて就労安定のため支援終了)

そのうち新規ケース支援開始 3名 (前年同期 6名)

被保護者	3名	30歳代1名、50歳代2名
------	----	---------------

実績 (令和4年4月～令和5年3月)

就労の実現	5名	40歳代2名、50歳代2名、60歳代1名	(前年同期 3名)
定着支援	7名	40歳代3名、50歳代3名、60歳代1名	(" 7名)
就労体験	2名	50歳代2名	(" 3名)

相談支援回数（下記の訪問・支援等の回数を含む）	928回	（前年同期 1,075回）
訪問回数	166回	（ 〃 277回）
就労継続支援事業所・市社協他関係機関との協働	438回	（ 〃 406回）
事業所見学同行	8回	（ 〃 5回）
医療機関への同行等支援	0回	（ 〃 6回）
ハローワークへの同行等支援	8回	（ 〃 7回）
ボランティア活動への同行等支援	4回	（ 〃 3回）

個別セミナー開催

内 容	講 師	回 数	（前年同期）
キャリアカウンセリング コラージュ療法ほか	キャリアコンサルタント	1回	8回
職業適性検査	キャリアコンサルタント 就労準備支援員	1回	4回
履歴書添削・作成支援	就労準備支援員	13回	5回
面接指導・模擬面接	就労準備支援員	16回	5回
ビジネスマナー教育	就労準備支援員	3回	—

(3) 3月末現在の支援対象人数

11名（前年同期 11名）

生活困窮者	0名	30歳代1名、40歳代3名、50歳代4名、60歳代3名
被保護者	11名	

(4) 今後の課題

1. 健常者と障がい者の狭間の事例（いわゆるグレーゾーン）の人たちの社会参加が困難で、そのような人たちを受け入れる中間的就労の場も少ない。
2. 複合的要因（知的・発達障がい、精神疾患、金銭、引き籠り等）によって社会参加を阻害されている人たちへの支援については、関係機関と連携しての対応が必要。
3. 長期の無業状態の人たちをはじめ、就労を阻害する個別要因を持つ人たちに対し、個々の興味や課題に合わせたハンドメイドの支援プログラムや支援メニューの開発が必要。

(5) 事業目標

1. 協力企業等の開拓

グレーゾーンの人たち（今後の課題1.）の社会参加の場として、厚労省が推奨している「生活困窮者自立支援法に基づく認定訓練事業」制度に基づいた中間的就労の受け入れ事業所の開拓を進めており、現状以下のような進捗状況となっている。

- ① 就労継続支援B型施設「河芸しいのみ事業所」（受け入れ稼働中）
- ② 就労継続支援B型施設「工房T&T」（受け入れ稼働中）
- ③ 就労継続支援B型施設「稲発クラブ」（受け入れ稼働中）
- ④ 就労継続支援B型施設「ピュア」（新規開拓、受け入れ実施）
- ⑤ 就労継続支援A型施設「りあん」（新規開拓、求人待ち）

一般就労や認定就労訓練事業所の利用が困難な場合には、内職も中間就労の選択肢と考え、内職の仕事の開拓も行っている。

今後、認定就労訓練事業所に限らず、一般企業・事業所、地域・ボランティア団体などの協力企業等の開拓を進め、被支援者の社会参加を可能とする中間的就労の場づくりを行っていく。

2. 関係機関との連携強化

ハローワークをはじめとした就労支援機関や福祉関係機関など被支援者の個別の課題に関する機関との連携強化を図り、複合的要因に対して多面的アプローチを行うようにしていきたいと考え、取り組み始めているところである。今後は、更なる多様な関連機関との連携強化を図っていく。

3. 多様な支援メニューの開発

被支援者個々の課題や状態像に合わせて支援プログラムや支援メニューを作成して実施している。今後も支援メニューの充実を図るとともに、関係機関の支援メニューの利用も取り入れていきたい。

会館維持管理・法定点検状況表

点検項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	回数
冷温水発生機 点検	点検	19日				30日			1日			10日	○	年5回
	報告書	4/25				9/8			11/9			2/22		
冷温水発生機 チューブ清掃	点検												○	年1回
	報告書													
冷温水発生機 煤煙測定	点検					22日		3日(再)				16日		年2回
	報告書					9/8		10/25				3/3		
自動制御 機器点検	点検			29日					6日					年2回
	報告書			7/27					1/20					
煤煙濃度計 校正点検	点検			29日										年1回
	報告書			7/27										
空調関係 水質検査	点検					22日						16日		年2回
	報告書					9/21						3/9		
環境測定	点検		24日		22日		12日		25日		30日		24日	年6回
	報告書		5/26		7/28		9/20		12/2		2/2		3/30	
簡易専用水道水 水質検査	点検			17日							30日			年2回
	報告書			6/21							2/7			
貯水槽清掃	点検											26日		年1回
	報告書											3/2		
簡易専用水道水 施設検査	点検							24日						年1回
	報告書							10/25						
電気工作物 年次点検	点検					14日								年1回
	報告書													
電気工作物 定期点検	点検			10日		14日		3日		8日		7日		年6回
	報告書	4日												
浄化槽点検	点検	1 8 15 23	6 13 19 28	3 10 17 24	1 15 22 29	5 12 19 26	2 9 16 30	7 15 21 28	4 11 18 25	2 9 12 20	6 13 21 27	3 10 17 24	3 10 17 24	月4回
	報告書								25日 11/25					
浄化槽水質検査	点検			1日						1日				年2回
	報告書			6/13						12/9				
浄化槽汚泥採取	実施											18日 2/20		年1回
エレベーター点検	点検	20日	19日	15日	12日	9日	2日	21日	28日	16日	5日	13日	10日	年12回
騒音測定	点検									27日				年1回
	報告書									1/20				
自動ドア点検	点検	9日			9日			1日			14日			年4回
	報告書													
電動シャッター点検	点検						24日						11日	年2回
	報告書						10/27						4/10	
消防設備点検	点検					28日						12日		年2回
	報告書					9/22						2/22		
防火対象物点検	点検							5日						年1回
	報告書							10/12						
非常灯点検	点検									25日				年1回
	報告書									1/28				
害虫防除	点検					28日							12日	年2回
	報告書					9/8							4/10	
ガラス清掃	実施		29日					10日				23日		年3回
空調設備管理 月例点検報告書	点検	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	年12回
	報告書	5/9	6/3	7/11	8/8	9/12	10/7	11/9	12/5	1/23	2/6	3/6	4/10	

自動販売機月別「販売数」一覧表

【令和4年度】

(単位:本)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比
地階	片田商事 (BF)	167	135	151	193	234	202	214	180	135	137	189	141	2,078	▲ 89
	明治牛乳 (BF)	232	205	220	220	261	238	230	284	269	272	338	316	3,085	459
1階	明治牛乳 (1F)	117	91	107	154	99	140	115	52	56	53	69	99	1,152	▲ 24
	FVイーストジャパン(1F食品)	176	181	197	247	218	442	241	259	298	264	338	352	3,213	222
	FVイーストジャパン(1F缶)	381	267	314	323	400	528	235	385	330	102	463	275	4,003	▲ 61
6階	明治牛乳 (6F)	64	60	78	87	133	167	160	111	112	106	137	117	1,332	109
	ヤクルト東海(6F)	175	105	264	258	200	219	185	239	343	184	207	262	2,641	440
	FVイーストジャパン(6F缶)	432	360	449	450	535	822	417	477	352	85	492	292	5,163	569
	FVイーストジャパン(6Fカップ)	325	152	88	324	218	384	259	109	350	137	248	272	2,866	▲ 188
合計		2,069	1,556	1,868	2,256	2,298	3,142	2,056	2,096	2,245	1,340	2,481	2,126	25,533	1,437

【令和3年度】

(単位:本)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比
地階	片田商事 (BF)	167	160	212	216	196	180	229	166	175	141	160	165	2,167	356
	明治牛乳 (BF)	214	178	330	242	295	183	193	200	186	153	202	250	2,626	291
1階	明治牛乳 (1F)	137	89	138	108	132	108	127	95	77	47	49	69	1,176	▲ 140
	FVイーストジャパン(1F食品)	366	199	217	228	270	260	232	260	271	245	244	199	2,991	▲ 86
	FVイーストジャパン(1F缶)	230	199	535	254	455	331	365	331	404	326	311	323	4,064	69
6階	明治牛乳 (6F)	84	40	100	118	138	57	130	153	126	71	110	96	1,223	▲ 352
	ヤクルト東海(6F)	190	87	241	186	163	236	224	148	245	109	141	231	2,201	▲ 907
	FVイーストジャパン(6F缶)	406	182	360	429	580	512	163	512	506	307	338	299	4,594	▲ 723
	FVイーストジャパン(6Fカップ)	304	291	138	242	273	202	131	202	632	120	214	305	3,054	▲ 126
合計		2,098	1,425	2,271	2,023	2,502	2,069	1,794	2,067	2,622	1,519	1,769	1,937	24,096	▲ 1,618

自動販売機月別「手数料」一覧表

【令和4年度】

(単位:円)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比
地階	片田商事 (BF)	3,590	2,975	3,240	4,225	5,165	4,405	4,670	3,985	2,955	3,000	4,120	3,115	45,445	▲ 1,076
	明治牛乳 (BF)	6,264	5,535	5,940	5,940	7,047	6,426	6,210	7,668	7,263	7,344	9,126	8,532	83,295	12,393
1階	明治牛乳 (1F)	896	840	1,092	1,218	1,386	1,960	1,610	728	784	742	966	1,386	13,608	▲ 4,718
	FVイーストジャパン(1F食品)	1,238	1,306	1,520	1,778	1,563	3,315	1,802	1,913	2,254	1,933	2,483	2,523	23,628	3,369
	FVイーストジャパン(1F缶)	12,820	9,230	11,241	11,292	14,093	18,381	8,402	13,966	11,532	3,577	15,779	9,803	140,116	4,613
6階	明治牛乳 (6F)	3,276	2,548	2,996	4,312	3,724	4,674	4,480	3,108	3,136	2,968	3,836	3,276	42,334	9,952
	ヤクルト東海(6F)	4,591	2,767	6,994	7,047	5,353	5,935	4,964	6,420	9,414	5,180	5,913	7,680	72,258	14,819
	FVイーストジャパン(6F缶)	14,297	11,825	14,969	15,040	17,867	27,298	14,412	16,189	11,916	2,920	16,637	9,828	173,198	23,640
	FVイーストジャパン(6Fカップ)	11,800	5,396	3,098	11,556	7,907	14,037	9,469	3,935	12,637	4,873	8,986	9,839	103,533	1,485
合計		58,772	42,422	51,090	62,408	64,105	86,431	56,019	57,912	61,891	32,537	67,846	55,982	697,415	64,477

【令和3年度】

(単位:円)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比
地階	片田商事 (BF)	3,531	3,481	4,585	4,710	4,349	3,880	4,915	3,555	3,760	2,925	3,335	3,495	46,521	7,681
	明治牛乳 (BF)	5,778	4,806	8,910	6,534	7,965	4,941	5,211	5,400	5,022	4,131	5,454	6,750	70,902	7,857
1階	明治牛乳 (1F)	1,918	1,246	1,932	1,512	1,848	1,512	3,640	1,330	1,078	658	686	966	18,326	▲ 98
	FVイーストジャパン(1F食品)	2,483	1,320	1,462	1,558	1,859	1,745	1,590	1,745	1,826	1,672	1,667	1,332	20,259	▲ 322
	FVイーストジャパン(1F缶)	7,756	7,025	18,150	8,440	15,165	11,020	12,079	11,020	13,357	10,651	10,090	10,750	135,503	▲ 1,300
6階	明治牛乳 (6F)	2,352	1,120	2,800	3,304	3,864	1,596	1,778	4,284	3,528	1,988	3,080	2,688	32,382	▲ 11,718
	ヤクルト東海(6F)	4,911	2,372	6,496	4,858	4,161	6,176	5,672	3,864	6,370	2,853	3,587	6,119	57,439	▲ 22,464
	FVイーストジャパン(6F缶)	12,879	5,948	11,677	14,035	19,171	16,589	5,288	16,589	16,637	9,973	11,007	9,765	149,558	▲ 23,560
	FVイーストジャパン(6Fカップ)	10,098	9,619	4,464	8,051	9,004	6,813	4,409	6,813	21,160	4,042	7,281	10,294	102,048	▲ 8,197
合計		51,706	36,937	60,476	53,002	67,386	54,272	44,582	54,600	72,738	38,893	46,187	52,159	632,938	▲ 52,121

第3期中期経営計画

公益財団法人 三重県労働福祉協会

ビジョン

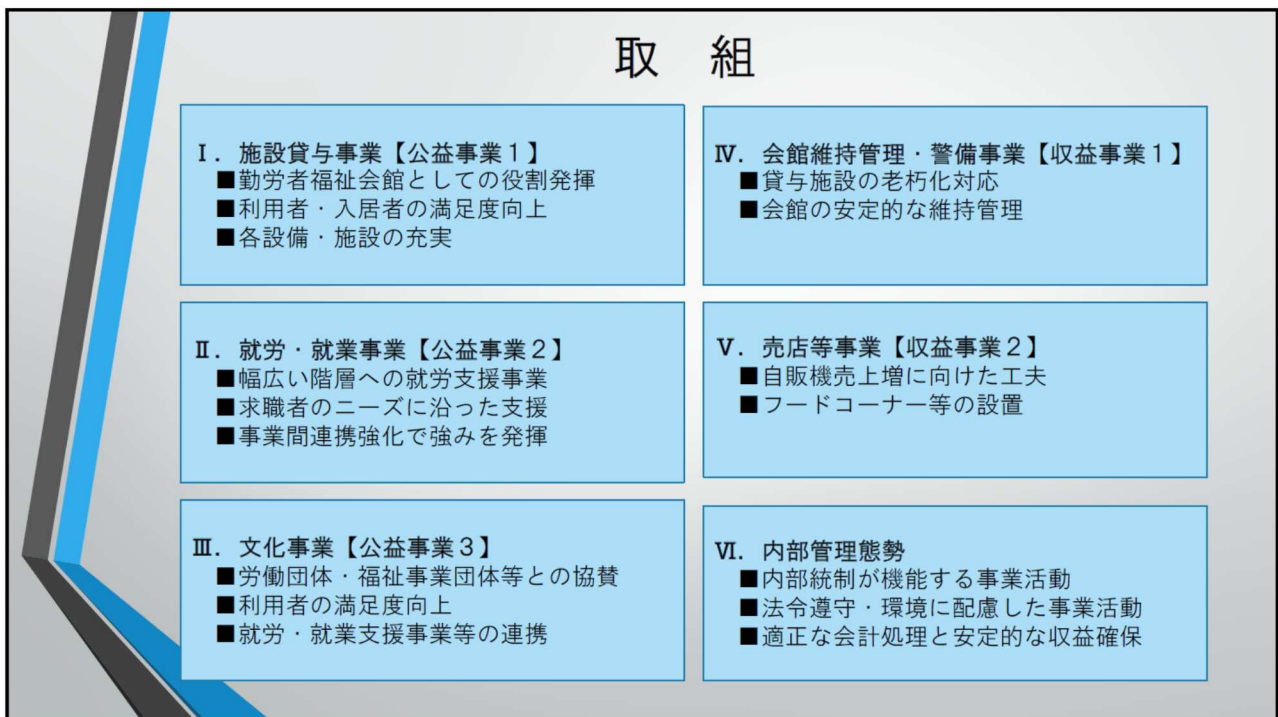
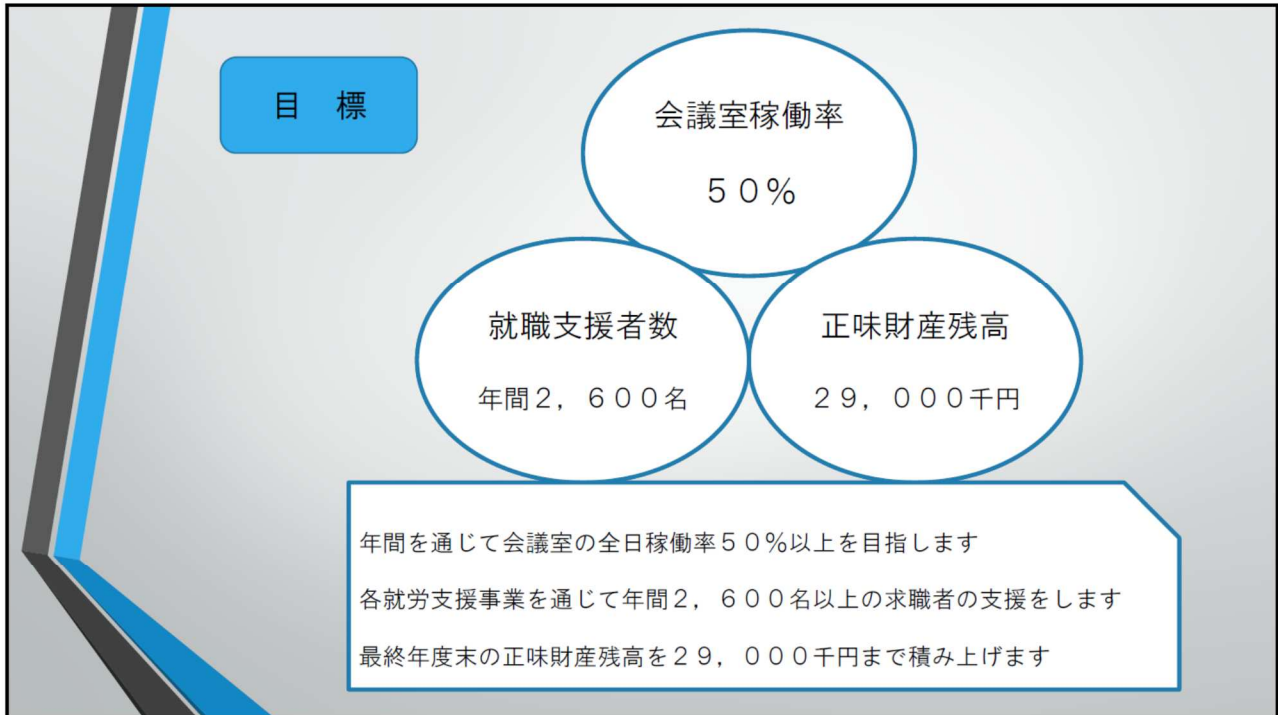
勤労者のための組織として事業の利用促進を通じて役割を発揮する

運営方針

質の高いサービスで勤労者の経済的・文化的地位の向上に寄与する

働きがい・生活安定の実現に向けて求職者に寄り添った支援を行う

安定的な経営基盤を長期持続するため内部管理態勢の強化に努める



第3期中期経営計画(令和2年度～令和4年度)取組課題

I 施設費と事業	取組課題	施策事項	実施時期				令和3年度の実施状況	判定
			R2年度	R3年度	R4年度			
1. 勤労者福祉会館としての役割発揮		<p>会議室の貸出は、勤労者・労働団体等が行う福祉・厚生・文化活動推進のため に資する研修・教育・会合等であるか適正に管理する。</p> <p>HP・リーフレットを通じて協会情報を発信したり、デジタルサイネージで福祉事業 団体等の情報提供を行う。</p> <p>労働団体、労働者福祉団体等との連携による利用促進を図る。</p> <p>会議室稼働率の低い「会議室」や「時期」の対策を講じ、利用促進を図る。</p> <p>津市指定の津波避難ビルとして役割を發揮できるように準備を整える。</p> <p>管理運営委員会等で入居団体と意見交換を行い、要望等を把握する。</p> <p>利用者・入居者の意見等を有効的なツールを用いて把握し、満足度向上に結び 付ける。</p> <p>改正健康増進法に適した受動喫煙対策を講じる。</p> <p>会議室利用申込のネット化を検討する。</p> <p>講堂の設備更新(吊看板・遮光カーテン・マイクデジタルワイヤレス・演台・司会 台・出入口扉・プロジェクター入力端子等)を検討する。</p> <p>研修室の設備更新(マイクデジタルワイヤレス・DVDプレイヤー・演台・司会台等) を検討する。</p> <p>特別会議室の机・椅子を更新する。</p> <p>各会議室にコート掛けを設置する。</p> <p>各階のトイレにエアータオルの設置を検討する。</p> <p>施設美観の点検を定期的に実施し、問題点を把握して対処する。</p>	○	○	○	<p>新規利用団体は組織及び会議室利用目的、また既利用団体はその利用目的が 会館の貸出規程を充たしているか検証して管理を行った。</p> <p>HPの「お知らせ」や三重県労働協会の機関紙での協会情報の発信や、デジタルサ イネージを利用して福祉事業団体の情報提供を行った。</p> <p>三重県労働協会の主催会議等を通じて、会議室の稼働状況や設備・環境改善状況 などを報告し、利用促進を要請した。</p> <p>全ての会議室へのWi-Fi導入や、稼働率の低い特別会議室の「料金引き下げ」と 「新しい設備(次世代型モニターボード)の導入」を行った。全体的に稼働率は 向上したが、特別会議室は低調な結果にとどまった。</p> <p>【令和2年度に完了】</p>	○	
			○	○	○	<p>管理運営委員会を年2回開催し、第2回では「入居団体負担金」と「会議室利用料 金」改定(引上げ)に向けて意見交換を行い、理解いただいた。</p> <p>入居団体からは管理運営委員会をはじめ日常的に意見・要望等を受け付けて、必 要な対応を図ったが、会議室利用者の意見・要望を把握するためのツールは作 成には至らなかった。</p> <p>【令和2年度に完了】</p>	○	
			○	○	○	<p>令和5年度ネット化に向けて業者も交えて具体的な検討を進めたが、予算確保が 困難な状況から実施は先送りすることとした。</p> <p>【令和2年度未達成、令和4年度に音響設備を更新】</p>	○	
			○	○	○	<p>研修室の設備更新の検討したが、令和2年度の残課題であった講堂の音響設備 更新を優先したため、予算の関係から研修室の設備更新は令和5年度以降に再 検討することとした。</p> <p>【令和3年度に完了】</p>	○	
			○	○	○	<p>講堂の設備更新を優先したため、令和4年度での実施は見送ることとした。</p> <p>【令和2年度に除外した課題】</p>	×	
			○	○	○	<p>コロナ禍を踏まえ感染防止対策の観点から、利用後の机・椅子・ドアノブ等のアル コール消毒を継続した。</p>	○	

II 就労・就業事業	取組課題	施策事項	実施時期				判定
			R2年度	R3年度	R4年度	R4年度	
1.幅広い階層への就労支援事業	おしごと広場を中心とした各種就労支援事業を受託し、継続的に就労者の支援を行う。	各関係機関と協議し、就労支援事業の拡大を図る。 就職困難者の雇用企業に対して、新たな認定あるいは表彰制度の設立を三重労働局・三重県等に働きかける。 学校との連携が取れる体制を整えて、幅広く事業の展開を行っていく。	○	○	○	○	○
			○	○	○	○	○
			○	○	○	○	○
2.求職者のニーズに沿った支援	就職環境に応じて工夫した内容の就労支援を実施し、求職者のニーズに応じていく。	報道各社、市町の雇用担当部署に周知する。	○	○	○	○	○
			○	○	○	○	○
			○	○	○	○	○
3.事業間連携強化で強みを發揮	受託事業以外の文化事業や各関係団体実施事業とも連携して、社会進出に向けた交流の場を提供する。	労福協、連合の事業実施と連携して、受託事業の周知を図り、就労・就業支援事業に資する取組を行う。	○	○	○	○	○
			○	○	○	○	○
			○	○	○	○	○
III 文化事業	取組課題	施策事項	R2年度	R3年度	R4年度	R4年度	判定
1.労働団体、労働福祉団体等との協賛	スポーツ交流会・熊野古道ツアー・婚活事業等各種事業に協賛し参加する。	労働問題等を考えるセミナー開催を検討する	○	○	○	○	○
			○	○	○	○	○
			○	○	○	○	○
2.利用者の満足度向上	地域の各種団体と連携して、ものづくり体験・子育て支援活動等を実施する。	未就労者が文化事業に参加しやすい機会を設け、一般就労者との交流や就業意識の醸成を図る場を提供する。	○	○	○	○	○
			○	○	○	○	○
			○	○	○	○	○
3.就労・就業支援事業等の連携	未就労者が文化事業に参加しやすい機会を設け、一般就労者との交流や就業意識の醸成を図る場を提供する。	未就労者が文化事業に参加しやすい機会を設け、一般就労者との交流や就業意識の醸成を図る場を提供する。	○	○	○	○	○
			○	○	○	○	○
			○	○	○	○	○
IV 会館維持・管理・整備事業	取組課題	施策事項	R2年度	R3年度	R4年度	R4年度	判定
1.貸与施設の老朽化対応	会館の老朽化・経年劣化に伴う更新・修繕を行う。	耐用年数(15年)、耐用運転時間(30,000H)を超過した空調設備のマルチシステムへの早期更新に向けて、県に働きかけていく。	○	○	○	○	○
			○	○	○	○	○
			○	○	○	○	○
2.会館の安定的な維持管理	消防(防災)研修、消防(防災)訓練を毎年実施し、自衛消防隊組織の実効性を高めながら、問題点があれば洗い出しを行う。	築45年になる会館の様々な設備の更新・会館の建替え等を踏まえ、三重県と意見交換できる機会を設ける。	○	○	○	○	△
			○	○	○	○	○
			○	○	○	○	○
		各種設備の法定点検・定期点検を励行し、不具合の回避や不具合の早期発見に努める。	○	○	○	○	○

V 売店等事業	取組課題	施策事項	実施時期				令和3年度の実施状況	判定						
			R2年度	R3年度	R4年度	R4年度								
	1.自販機売上増に向けた工夫	自動販売機の稼働状況を確認し、また入居団体等の意見を聞きながら、商品ラインナップの変更や自動販売機の入替えを検討する。	○	○	○	○	売切商品の補充を随時催促や、売上状況を分析などにより、売上の増加に努めている。	○						
	2.フードコーナー等の設置	地下旧レストラン厨房の有効活用(フードコーナー設置等)を検討する。					【令和3年度に除外した課題】							
VI 内部管理態勢	取組課題	施策事項	実施時期				令和3年度の実施状況	判定						
	1.内部統制が機能する事業活動	理事会、評議員会を通じて内部統制機能を発揮する。 内部規程等の整備を図り、内部統制機能を高める。 個人情報保護態勢を点検し、顧客保護を徹底する。 コンプライアンス意識を役員へ浸透、徹底する。 環境に配慮した商品購入・使用を意識する。 継続して公益認定財務3基準を達成する。 ・収支相償 ・公益目的事業比率50%以上 ・遊休財産保有制限 各経費の削減を図る。 事務処理の堅確化・効率化を図るためインターネットバンキングの導入を検討する。 入居団体の時間外冷暖房料金の見直しを検討する。	R2年度	R3年度	R4年度	R4年度			理事会7回、評議員会4回(定時を含む)開催し、内部統制の強化に努めた。 令和3年度・令和4年度当初に発生したメールアドレスの情報漏えいを踏まえ、メール誤送信防止システムの導入と、導入に伴う研修を実施し、個人情報適正管理の徹底を図った。 専務理事が責任者、各事業の統括責任者が部門担当者とした管理体制で、顧客情報管理の徹底を継続した。 全メール誤送信防止に伴う研修に留まり、広範囲でのコンプライアンス研修には至らなかった 必要な商品はエコ表示商品を中心に購入に努めた。 令和4年度も3基準とも達成した。 令和4年度も3基準とも達成した。 必要性・必要数量を考慮した上で、相見積もりの徹底に努めた。 【令和3年度に完了】 物価高騰に伴い入居団体負担金および会議室利用料金の改定(引上げ)を優先して検討(令和5年10月適用)したが、期間外・時間外冷暖房料金改定は令和5年度中に検討・実施できなかった。	○	○	○	○	○
	2.法令遵守・環境に配慮した事業活動		○	○	○	○		△						
	3.適正な会計処理と安定的な収益確保		○	○	○	○		○						
Ⅳ その他	取組課題	施策事項	実施時期				令和3年度の実施状況	判定						
	1.協会設立50周年事業の検討	令和5年5月に協会設立50周年を迎えるにあたり、記念事業等について検討する。	R2年度	R3年度	R4年度	R4年度			記念事業の検討を進めたが、経営状況が厳しいため予算が取れないことから、既存の文化事業との抱き合わせなど、可能な限り予算をかけない記念事業にすることをとした。 令和4年5月に、ランドセル20個を取り纏めて寄贈するとともに、令和5年度の継続実施に向けて準備を進めたが、労福協等との協賛の検討には至らなかった。	○	○	○	○	○
	2.ボランティア活動の継続	ジョイセフを通じて「想い出のランドセル」「使用済み切手」の回収を継続実施する。「想い出のランドセル」については、労福協等との協賛も検討する。	○	○	○	○		△						